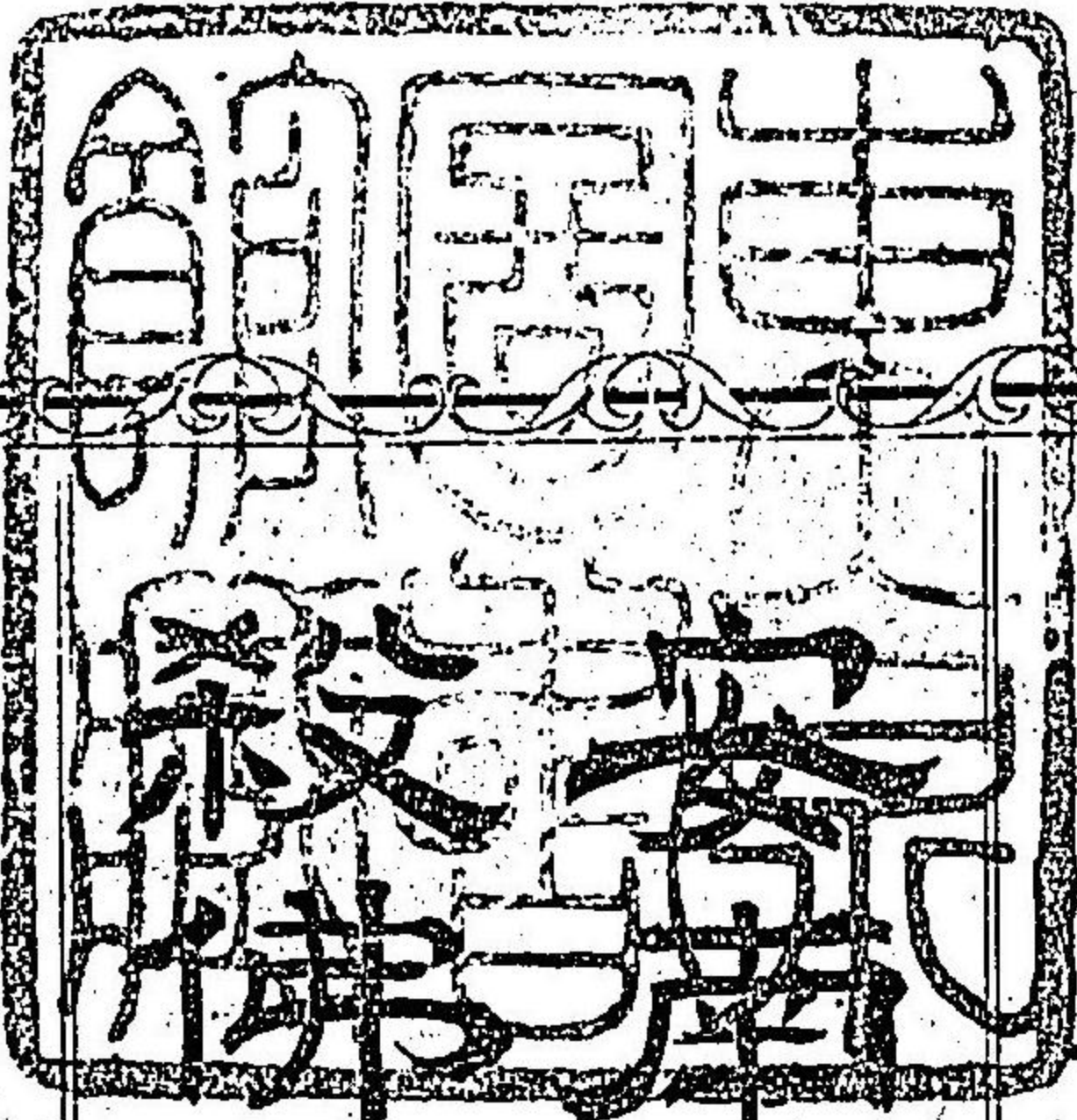


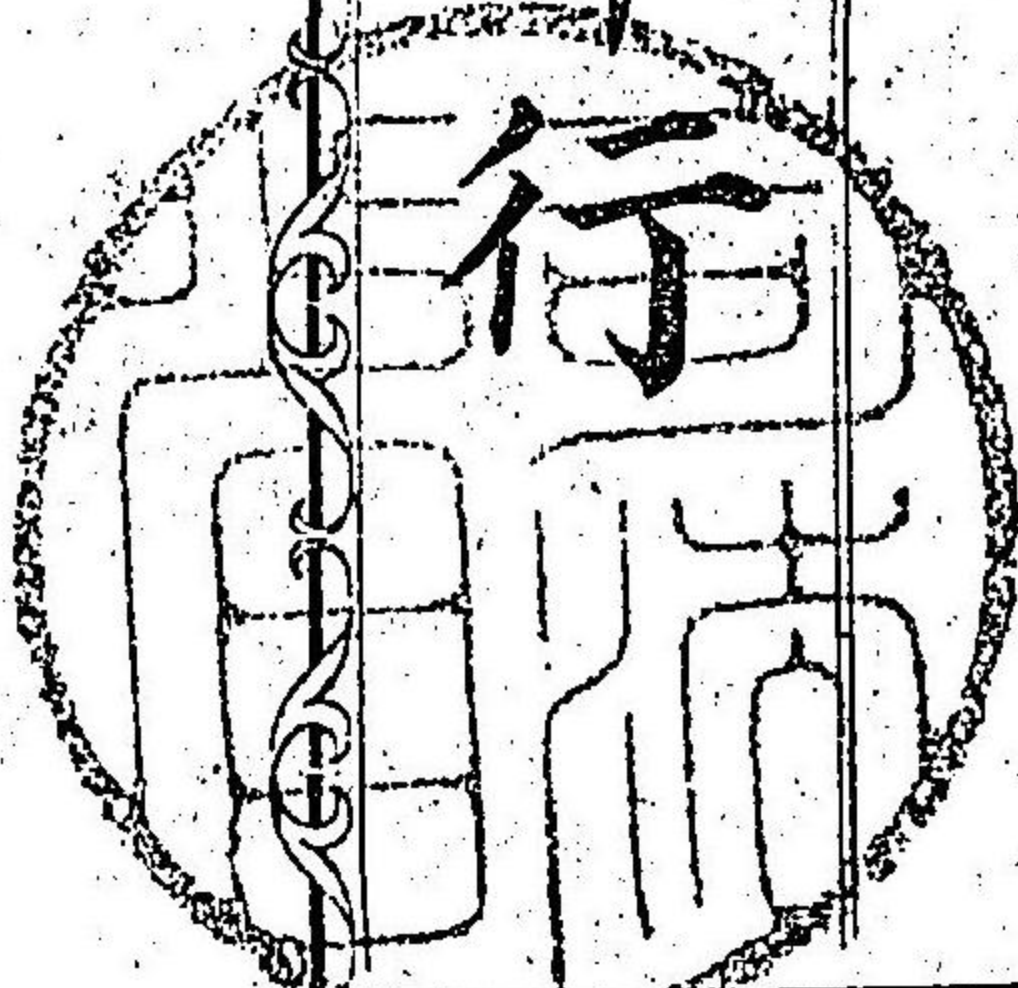
No 11188



司法部藏版

人治罪書類

明治十一年三月印行



司法部

安南人治罪書類序

警察官吏罪犯ヲ踪跡拘拿シ現詳或ハ追詳二語ノ解後ニ見ユヲ

具シテ之ヲ檢事ニ出ス檢事乃之ヲ受テ以テ法廷ニ原

告シ裁判官其犯證ヲ認テ之ヲ處斷宣告ス斯レ之ヲ刑

事ノ順序トス即是書ハ佛蘭西附屬安南地方ニ在テ其

土人ノ佛蘭西人ヲ謀殺セシモノヲ偵知スルヨリ處刑

スルニ至ル迄ノ書類ヲ編成シタルモノニシテ嚮ニ大

木司法卿ノ佛蘭西人シユスラン氏ニ囑シ其サイゴン

府ノ裁判所ニ要求謄寫シ得ルトコロノ一也今其書中

ニ就キ大綱ヲ提スルニ地方官ヨリ被害人有ルノ報知

二書アリ檢屍及殯埋ノ報告書アリ醫師驗視ノ證書アリ
警察官吏ノ推勘シタル被害人ノ社友某カ陳述書アリ
被告人ヲ拘拿セル調書及被告人ノ供述對質等ノ書アリ
是數者ハ皆警察官吏ヨリ檢事ニ具申スル者現詳ニ
シテ檢事ハ之ヲ受ケ即チ之ヲ裁判官ニ原告ス裁判官
其請求ニヨリ乃臨會法廷ヲ開ク是ニ於テ乎檢事ハ原
告人ヲ以テ之ニ列シ警察官吏ハ證人ヲ以テ之ニ列ス
其他辯護人アリテ其冤誣ナカラントヲ保護ス而シテ裁
判官其犯狀ヲ問擬處斷ス是ニ由テ之ヲ觀ルニ檢事ノ
之ヲ原告スルヤ判事ノ之ヲ處斷スルヤ皆警察官吏ノ

具申現詳スル所ヲ以テ根據トナス者ナリ司法卿明治

九年第六十四號ヲ以テ斷罪證據ノ解釋ヲ各裁判所ニ
達セラレタル其第三項ニ云相當官吏ノ明細書ト「可知

警察官吏ノ具申書現詳ハ即證據ノ一ニ居ルモノナル

コヲ而シテ此書ニ載スルトコロノ順序ニ於テ亦明ナ

リ法官審糾ノ際ニ當テ或ハ警察官吏ノ現詳及追詳ハ
憑證ノ一ニ居ルコトヲ思ハス其犯證ヲ求ルヤ是ヲ捨
彼レニ探リ精ヲ加ヘ密ヲ重ヌト雖モ日月爲之遷移益
其現地ノ實響ヲ離レ文書堆ヲナシ裁案漸ク成ルニ及
テ犯人固圍月ヲ浹フシ旬ヲ經ルノ苦ニ疲レ而シテ官
亦其繁ト弊トニ堪サルナリ

夫詭譎千端狀態百出其形ヲ伏シ其情ヲ匿シ窮詰ノ容

三易ナラサルヤ孰レカ刑獄ヨリ甚シキモソアラシク況ン

四 ヤ人情日ニ媮薄犯事日ニ多項法官判事檢事タルモノ之ニ

應シ竅ヲ導キ善ヲ批シ其真情ヲシテ遁ルトコロナカラシムルハ其心ヲ用ユルノ深キニ非レハ得ヘカラサルコト固リナリト雖モ要スルニ亦タ之ヲ摘發スルノ具ノ詳且密ナルニ非レハ民ニ惡シク覆盆ノ冤ヲ免カレサル無ヲ保スルコトヲ得ンヤ故ニ警察官吏ノ犯證ヲ厥始ニ偵認現詳追詳ヲ造ル現詳追詳スルハ法官ノ厥終ヲ完成スル所以ニシテ其關係スルトコロ實ニ重且大矣然リ而シテ吾國既ニ警察官吏ノ設ケアリ檢事ノ設ケアリ判事ノ設ケアリ刑事ノ順序畧ホ佛蘭西ノ休裁ニ依倣スト雖モ警

察ノ犯證ヲ具申スルヤ檢事ノ原告スルヤ判事ノ之ヲ處斷スルヤ未タ悉ク彼ノ方法ノ如クナルコト能ハス抑改定律例第三百十八條ヲ改正シ罪ヲ斷スル證ニ依ルヲ以テ旨トナスルハ則チ方今刑事上尤此ニ注意セスンハアル可カラス因テ司法卿夙ニ治罪ノ法式ヲ上請シテ之ヲ定メントスルノ志有リ然リト雖モ一朝新法ヲ頒布スルニ際シ或ハ恐ル其然ラサルヲ得サル所以ノ原意ヲ了會シ得サル者アルモ亦知ル可カラス乃先ツ命シテ是書ヲ刻シ以テ人々ヲシテ預ラカシメ佛蘭西面警察吏ノ具申現詳檢事ノ原告裁判官ノ斷罪宣告等

六ノ法式大率予此ノ如キヲ知リ以テ異日新法ヲ奉行ス
ルノ筈蹄トナサシム蓋其之ヲ空論ニ載シヨリハ之ヲ
行事ニ徴スルノ深切著明ナルニ若カサルノ意也乃其
旨ヲ書シテ以テ是書ヲ讀ム者ニ告ト云

明治十年十有二月

編纂課

現詳、追詳ノ語、從來譯字ノ適當スベキナシ故ニ今假リニ
此文字ヲ成シテ之レニ當ツ、又ハシレト氏字書ヲ註解ヲ
引テ其原語ノ意義ヲ明ニス

現詳「プロセ、ベルバル」

一ツノ書付ニシテ裁判官又ハ公吏及ヒ行政官吏又ハ仲
裁人又ハ鑑定人が己レノ職務ヲ行フ間ニ自ラ見タルコ
或ハ其目前ニ人ヲ爲シタルコト有リタルコトノ始末ヲ告ケ
ルモノ也「民事ニ於テ公正ノ方法ニテ私利ノ訴訟ノ本ト
ナルヘキ事件ヲ纏メテ證スル爲ニ設クルモノ又現詳ト

七

八

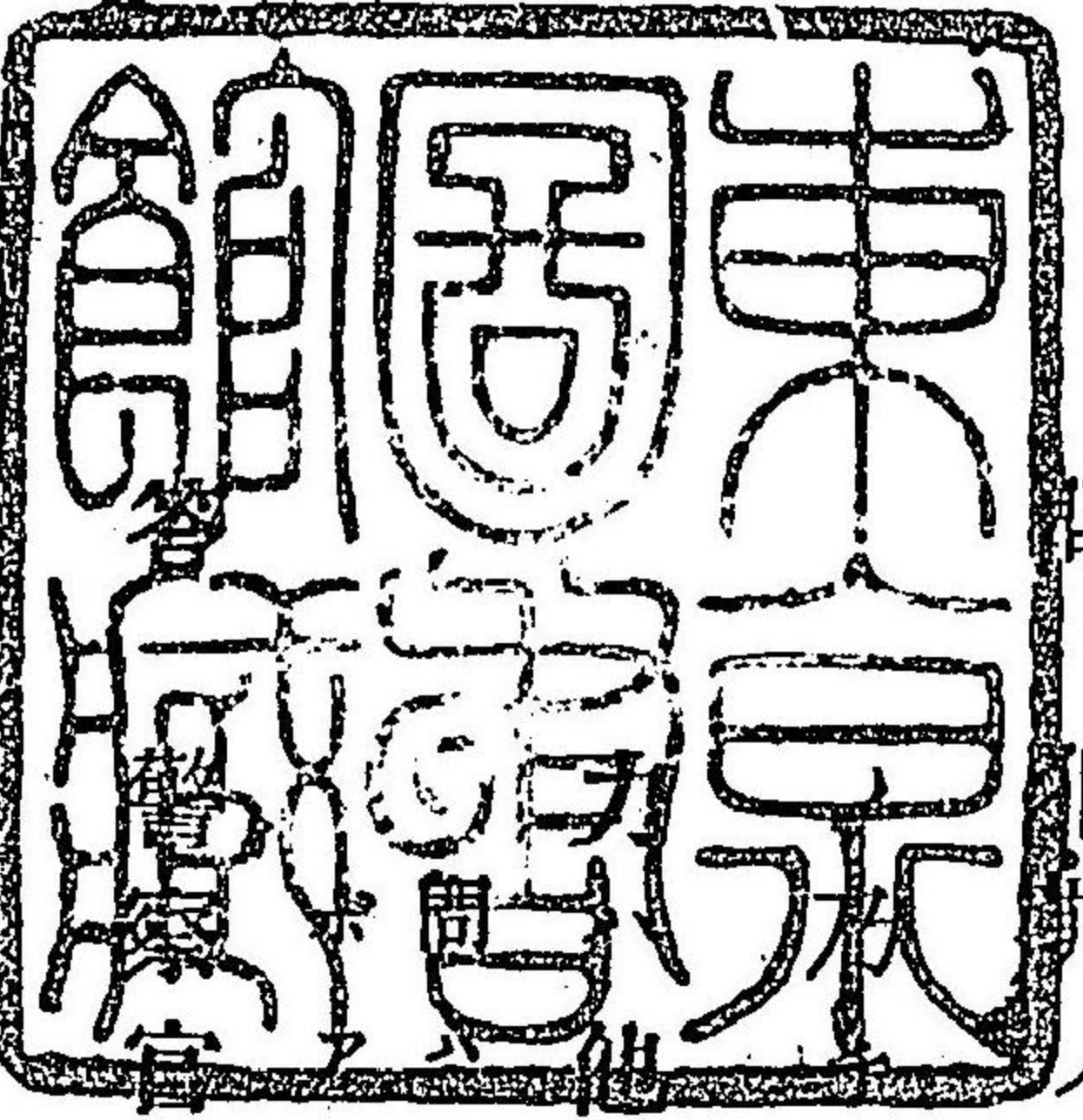
云是レハ公證人使吏裁判所ノ書記役治安裁判官又ハ別
段其爲メ撰マレタル判事ノ作ルモノニテ其證據タルノ
効ハ贋造ノ訴アルマテハ全シトス「違警罪輕罪重罪ノ事
件ニ於テ現詳ハ刑法ノ執行ヲ慥ニスル爲メ也是レハ司
法警察ノ任アル官吏ニシテ「シヤノタルム」田野ノ番人稅
關ノ吏不直稅公有地印紙登記等ニ屬スル官吏等ノ爲ス
モノ也」證人又ハ書類ヲ以テ他ヨリ此現詳ヲ破ルコトハ行
政官吏ノ現詳ニ對シテ之ヲ許ス蓋シ此官吏ヲハ贋造ノ
訴ヘマテ他ヨリ信セラレルノ權ヲ法律ヨリ許シテ有ラ
サルカ故也

追詳「ラツポール」

人自ラ任セラレタル事或ハ其使事ニ關シ爲シタル始末
書也

左ノ問答書ハ大木司法卿預メ問題ヲ立テ余ニ命シテ
佛國人ボアソナード氏ニ質問セラレシモノ也安南謀
殺ノ書ヲ梓行アルノ日ニ際シ司法卿又命シテ該書ノ
首メニ篇入セシム蓋シ看者ヲシテ意ノ用ユヘキ所ヲ
知ラシメントナリ

黒川少書記官



問 犯罪ノ

證據トナス可キハ警察官吏ノ現詳ナルモ

其證據ノ一ニ居ルハ明カナリ而シテ其効

ノ證據ニ比スレハ強弱アル乎

司法卿ノ問 鶴答ハ佛國人
ツナード氏ノ答以下准之

吏ノ現詳ハ證據ノ力ヲ最モ強キモノ也

問 現詳ハ重罪輕罪違警罪ニ於テ區別ナカル可シ

答 然リ少シモ區別ナシ

問 其現詳ノ効力ヲ顯ハサントナスノ手續ハ必ス悉

ク之ヲ檢事ニ出ス乎

一 答 然リ悉ク之ヲ檢事ニ出シ檢事之ヲ判事ニ付ス

二問 然レハ佛國治安裁判所ノ如キ檢事ナキ所ハ警察官吏直ニ之ヲ裁判官ニ出ス乎

答 然ラズ檢事ノ務メヲ行フ警察官吏ニ出スナリ

記者曰ク此警察官吏ハ檢事ノ場合ヲ行テ裁判官ニ出スナル可シ

問 此檢事ノ務メヲ行フ警察官吏ハ其性質如何

答 此警察官吏ハ檢事ノ務メヲ行フヲ以テ全ク原告人也此場合ニ於テハ警察官吏ノ性質ナシ

抑人口多キ區ニハ警察官吏數人アルニ依リ其内常ニ檢事ノ務メヲ行フ可キ者ヲ預メ定メ置クナ

リ

人口少キ區ニテ警察官吏ノ少キ場所ハ或ハ預メ檢事ノ務メヲ行フ可キ者ヲ定メ置クヲ能ハズ一人ニテ檢事ヲ兼ヌルモノアリ故ニ時トシテ己レノ造リタル現詳ヲ以テ己レ又檢事ノ務メヲ行ヒ原告スルヲアリ

是レハ己ムヲ得ザルトト雖モ甚ダ不都合ナリ如何トナレハ此ノ如キ時ニ際シテハ犯人往々之ヲ以テ口實トシ云フアリ此現詳ハ原告者己レノ造リタルモノナリ之ヲ以テ信トセラル、ハ不可ト

三

四

道理ヨリ之ヲ見レハ自ラ造リタル現詳ヲ以テ自
ラ原告スルモノナレバ裁判官ニ於テモ此現詳ヲ
認ムル他ノ現詳ニ比スレハ自ラ其効力ヲ薄クセ
ザルヲ得ズ

記者曰ク警察官吏ノ務メト檢事ノ務メト區域
アル所以ノ意於是見ル可キナリ

問 重罪若クハ輕罪裁判所ノ檢事アル所ニテ警察官
吏ナル者裁判席ニ列班スルハ證人ノ場ヲ以テ出
ル乎

答 然リ檢事ノ證人ト爲リ其呼出ヲ受クレバ出ヅ受
ケザレハ出デズ

記者曰是レ檢事ノ補佐タルユヘン

問 檢事ニテ警察官吏ノ出シタル現詳ヲ不備欠漏ノ
處アリト思料スル時ハ之ヲ増補スル爲メ直チニ
之ヲ糺問判事ニ付シ糺問ヲ求ムルノミ乎將タ檢
事一タヒ自ラ之ヲ爲ス乎

答 警察官吏現詳ヲ造リ出シタル上ハ假令其欠漏ノ
處アリト思フトモ之ヲ増補セシガ爲メ檢事自ラ
之ヲ糺問シ或ハ再ヒ警察官吏ニ付シ増補セシム
ル等決シテアルヲナシ唯獨リ之ヲ爲スノ權ハ糺

五

六

問 判事ニアルノミ

問 檢事ニ於テ警察官吏ノ現詳欠漏ナシト思料スル時ハ直ニ之ヲ公判ニ付ス可キ乎

答 然リ但シ檢事其原告書中ニ已レノ見込ヲ述ルハアルベシ之ガ爲メ檢事自ラ糺問スルガ如キト亦アルトナシ

問 檢事現行犯ニ於テハ之ヲ糺問スルニ非ズ哉

答 然リ檢事ハ現行犯ニ於テノミ自ラ糺問スルヲ得ルノミ其他現行犯ニ非レバ決シテ糺問セス又現詳ヲ造ルトナシ若シ之ヲ爲サシムルトナラザルハ

是レ正ニ民事ノ訴ヘニ於テ原告債主ナル者ヲシテ已レノ爲メニ貸金證文ヲ作ラシムルヲ許スガ如シ是レ實ニ不正ノ至リナラスヤ此故ニ假令現行犯ニ於テモ檢事ニ此現詳ヲ造ルノ權ヲ與フルハ道理ニ適セザルナリ是全ク止ムヲ得ザルニ出ルノ法トス

記者曰ク警察官吏ノ務メト檢事ノ務メト區域アル所以ノ意是ニ於テ亦見ル可キナリ

七
問 糺問判事ノ糺問ナスニ方リテ檢事或ハ裁判官ノ指揮ヲ受ケルトアルヤ否

八答

檢事ハ惣テ警察官吏ノ現詳ヲ集メテ之ヲ糺問判事ニ廻シ糺問ヲ求ムノミ

然ル上ニテ糺問一切ノ事ハ全ク糺問判事ノ適宜處置ニアルナリ檢事少シモ之ニ關係スルコト不能故ニ糺問判事ニ指揮スルコトアルナシ

但シ檢事ヨリ証人ノ名表ヲ出スコトアル而已

又裁判官モ糺問判事ニ關係スルコトナシ

記者曰ク糺問判事ハ獨立シテ檢事ト裁判官ニ關係セス

問

糺問判事ノ糺問ヲ要スル所以ノモノハ警察官吏ノ現詳ヲ補増シテ自ラ之ヲ造ルト重輕罪犯ヲ判別スル爲メ乎

答

然リ糺問判事ノ設ケアルヤ素ヨリ警察官吏ノ現詳ヲ増補シ造ルト又輕重罪犯ヲ判別シテ之ヲ其裁判スヘキ處轄ニ付スルニ在リ

其處分ハ四箇ニ分ツナリ

其一ハ 重罪ナレハ重罪裁判所へ

其二ハ 輕罪ナレハ輕罪裁判所へ

其三ハ 違警罪ナレハ違警罪裁判所へ付シ

九

其四ハ 無罪ナレハ放免スルノ類ナリ

〇一

問 糺問判事ノ糺問書ニ現詳ト追詳ト二類アル乎

答 當時追詳ト名ヅクルモノハ最少シ唯審査人ノ追

詳アルノミ是レ糺問判事ヨリ其適當ノ人ニ命ジ

審査セシメ一ツノ書付ヲ作ラシムルモノヲ云

糺問判事自分實地ヲ検査シ或ハ犯人或ハ証人ヲ

呼出シ問答糺問セシ調書ハ皆之ヲ現詳ト名ヅク

ルナリ

問 糺問判事ノ現詳ト追詳トハ皆同シク裁判官ニ於

テハ之ヲ證據ト見此二ツノモノニ輕重スル所ナ

キ乎

答 糺問判事ノ現詳モ審査人ノ追詳モ皆均シク證據

ニシテ其効力モ亦異ナルコアルナシ

記者曰ク糺問判事ノ調書ハ即チ是レ現詳ナリ

追詳此内是レ此ノ現詳ハ即チ證據ノ効力ヲ有

ニ合セ云 スルナリ即チ知ル糺問判事ハ獨立シテ檢事ト

裁判官ニ關係セザル所以ノ意ヲ

問 檢事自ラ現追二詳ヲ造ルヲ得ズ然レバ檢事ヲ設

ケル所以ノ要點一言ニシテ之ヲ言ント欲セバ如

何

一一

答 夫レ檢事ハ現行犯ニ於テハ自ラ現詳ヲ造ルト雖

モ現行犯ヲ除クノ外檢事自ラ現詳ヲ造ラス
 即チ檢事非現行ノ場合ニ際シテハ先ヅ警察官吏
 ノ現詳ヲ受取り之ヲ集メテ其糺問判事ニ廻ス可
 キモノハ即チ之ヲ廻ス

於是糺問判事ハ現詳ノ増補ス可キモノハ之ヲ糺
 問シ現詳ヲ造リ其犯罪ノ輕重ヲ定メテ之ヲ檢事
 ニ還付ス檢事乃チ其書類ヲ受取り之ヲ裁判官ニ
 出シ已レ求刑狀ヲ添テ原告トナリ訟廷ニ出テ求
 刑ノ意ヲ申言陳説ス

故ニ一言ニシテ檢事ノ要點ヲ言フント欲セバ無

他刑事ノ訴訟ニ於テハ之ヲ訴出シ刑ヲ求ムルノ
 原告ナカル可カラズ檢事ハ即チ其原告者ナリ
 是故ニ現詳追詳ヲ造ルハ警察官吏ノ任ニシテ檢
 事ノ權ニ非ラズ出訴求刑ハ檢事ノ權ニシテ警察
 官吏ノ預カル可キニ非ザルナリ

記者曰ク警察官吏ノ務メト檢事ノ務メト區域
 アル所以ノ意是レニ於テヤ判然タリ蓋シ檢事
 ヲシテ自ラ現詳ヲ造ラシメバ自ラ其原告ノ力
 ラヲ失セン警察官吏ヲシテ又自ラ原告センメ
 バ自ラ其証據ノ効力失セン此故ニ二者相持而

不相混則人ヲシテ間ヲ容ル、ノ地ナク於是裁
決ノカラ亦大ニ得ル所アラシ是レ之ヲ法ノ嚴
意ト云可シ

○佛國治罪法第九條田野ノ監守人及ビ云々ヨ
リ以下下吟味掛リ裁判官ニ至ル迄ノ數官吏ハ
皆警察官吏ノ場合ヲナスモノナルニヨリ皆現
詳ヲ造ルモノナリ而シテ此中ニアル檢事ハ全
ク現行犯ノ時ノ場合ナルヲ以テ亦同シク現詳
ヲ造ル可キ者ナリ去レバ原告ノ主任タル檢事
本分ノ職ニ非ラザル可知

問

現詳ハ檢事現行犯ニ非ザレバ之ヲ作ラズ然ルニ
此安南謀殺ノ一件ヲ見ルニ檢事ニシテ現詳ヲ造
ルモノ不少如何

答

此書類ヲ見ルニ檢官ニシテ犯人又ハ証人ヲ呼出
シ其糾問ノ末一ツノ現詳ヲ造ルコト數々アリ蓋シ
該地佛國ノ治罪法ヲ以テ罪犯ヲ治スルト雖モ亦
其本國ノ法ト異ナル者アレバナリ

就中彼ノ地ニハ糾問判事ノ設ケ無ク檢事ニシテ
其職掌ヲ行フ如シ是レ別段ノ法律アリテ如此定
メシナリ

千八百七十四年七月二十五日詔令

佛領「サイゴン」裁判事務ニ係ル

第二十四條 重罪ノ場合ニ當リ檢事ハ下吟味ノ事ヲ終リタル上ニテ若シ其犯人ヲ重罪裁判所ヘ引出サント見込ナレバ求刑狀ヲ作り裁判所長ヘ送り且ツ其開場ノ日ヲ定ムルヲ求ム其求刑狀ト所長ノ指令ハ犯人ニ送達ス又檢事ハ豫メ下吟味ナシニ直チニ重罪裁判所ヘ訴フルヲ得可シ

一此書ハ大木司法郷佛國治罪手續ノ實際ヲ見ント
 欲セラレ當時司法省中御雇入ノ佛人ジュヌスラ
 ン氏ニ囑シテ得ル所ニ係ル蓋シ其書タル嘗テ佛
 國藩属地コシヤンシイメ上等裁判所ニ於テ判決
 セル所ノ謀殺治罪ノ書類ヲ輯綴スルモノナリ
 一原文ハ傳寫セシモノナルヲ以テ誤字脱漏ノトコ
 口抄ナカラス故ニ今生等命ヲ奉シテ之ヲ譯スル
 ニ際リ書中往々文意ノ明瞭ヲ欠クモノアリト雖
 モ敢テ臆斷ヲ用ヒス又其譯字行文ノ鄙野ヲ顧ミ
 サルハ漫リニ潤色ヲ用ヒテ其實ヲ失ハンコトヲ懼

二
レテナリ

一本書編綴ノ体裁ハ各書ノ番號ニ從ヒ編ム可キモ
ノト雖モ原書番號ヲ施スモノ甚々少ナシ故ニ今
更ニ其各書ノ日附ヲ逐テ之レヲ編成ス
一書中「」ヲ施スモノハ地名——ヲ側ニ施スモノ
ハ人名トス

譯者誌

譯語 原語

控訴院又ハ重罪裁判所

クール、ダッペール又ハクール、

民刑ノ控訴ヲ受ケ且重罪審院即チ「クールダッシ」
ズ」ヲ兼ヌ即チ今ノ上等裁判長ニ類スルモノ

大檢事

プロキユロールゼ子ラール

破毀裁判所並ニ上等裁判所ニ於テ各一員ヲ置ク
モノニシテ其檢事局ノ長トナリ其管轄内一切ノ
檢務ヲ統理スル者

大檢事補助

シユブスチチユ

大檢事ノ事務ヲ助ケ又ハ之ニ代理スル者

檢事

プロキユロール、ド、ラ、レピユ
アリッソ

三
初告裁判所(今ノ地方裁判所ノ類)ニ於テ一員ヲ置
ク者ニシテ其檢事局ノ長トナリ其管轄内一切ノ

四 檢務ヲ管理スル者

檢事補助 シユブスチチユ

初告裁判所ニ於テ一員若クハ數員ヲ置ク者ニシテ檢事ノ事務ヲ助ケ又ハ之ニ代理スル者

書記 グレフエー

各裁判所一切ノ書記ヲ司リ又公証人ノ事ヲ兼ネ行フト云フ

地方司配官 アドミニストラートル

地方行政ノ事務ヲ執ル者今ノ地方官ノ如キモノ

警察中央局 ビユローサントラール

警察ノ本局ニシテ各區ノ警察所ヲ統轄スル所

警察所 コミセリヤ

各區ニ配置スル所ノ警察屯所

警察吏 コミセルドポリス

各屯所ニ於テ警察卒ノ長トナリ司法行政警察ノ事務ヲ執ル者ニシテ違警裁判所(即チ治安裁判所)ナリ今ノ勸解廳ノ如キモノニ於テハ檢事ノ務メ兼子行

警察卒 アヂヤンドポリス

檢官又ハ警察吏ノ指揮ヲ受ケルコト猶ホ本邦ノ巡查ニ同シ

被疑人 アンキユルペー

罪ヲ訴ヘラレ逮捕審問ヲ受可キ者ノ總稱

重罪被告人

五 既ニ下調ヲ畢リ上等裁判重罪取調局ヘ送ラレタル者

佛國屬地「ユセシイヌ」ニ於テ安南人佛人ヲ謀殺ノ件 治罪書類

井田 鐘次郎

岩野 新平

井上 操

高木 豊三

合譯

○第一號

第四百十八號

一千八百七十四年五月二十九日「パリヤ」地方發ス大檢事

二 貴下ニ白ス

余貴下ニ死者歐人ノ船中ニ見出シタル書類ヲ送致ス
此書類ハ必ス犯人ノ姓名ヲ知ルニ十分ナリト信ス謹
テ書送スルヲ斯ノ如シ

「バリア」司配官

リリジフル手署

○第二號

第百八十九號「サイゴン」廳

電報千八百七十四年五月二十七日午後八時四十分「バ

リア」發ス

「バリア」司配官ヨリ「サイゴン」大檢事へ報告

今朝「ロンヒユラン」邑ノ一部ナル「グサカン」ノ小村ノ邊
ニ在ル「ラクシアン」河ニ浮ヘル船中ニ一個ノ歐人ノ死
体ヲ見出シタリ此死体ノ在ル所タルヤ「バリア」ヲ去ル
ト三時間ニシテ漸ク到着スル程度ノ距離ナリ故ニ余
モ亦全ク此變事ヲ知ラサリシカ幸ニ「ロンヒユラン」ノ
邑人報告スル所トナリテ初メテ之レヲ知ルヲ得タリ
潮水ノ好機ヲ得テ夜中此死体ヲ余ノ所ニ運送スルヲ
三 得タリシカ親シク就テ之ヲ觀ルニ咽喉ノ切斷セラレ

四タルヲ見ル余ノ足下ニ白ス者此ノ如シ又余事ナシ唯
貴下ノ命ヲ待ツ

リリジフル手署

○第三號

第百九十四號「サイゴン」廳

電報千八百七十四年五月二十八日午前四時五十五分

「パリア」發ス

「パリア」司配官ヨリ「サイゴン」大檢事ヘノ報告

死体已ニ腐敗シ死者ノ名ヲ知ルヲ得ス其服スル所ノ

襦絆并ニ股引ノ如キ一ノ記號ナシ其他死者ノ所有ス
ル者ヲ取出シ詳細之レヲ檢スルモ一點ノ記號ナシ斯
ク檢閱ヲ爲シ遂ニ一小冊ヲ見出シタリ明日貴下ニ之
レヲ送致ス可シ此冊子獨リ能ク公裁ノ端緒タル可シ
ト思ハル其冊子ニ曰ク所有者ハ請負人ラウエル氏ノ
雇役ヲ爲スタメ千八百七十二年十一月ラウエル氏費
用ヲ以テ佛國ヲ發足シ「コミユン・シーヌ」ニ來ル可シト
又此冊子中ニヘルソント名書セシハ余ヲシテ死者ノ
名タルコトヲ信思セシメタリ又白髮ト栗色髮ト相混シ
五タル一束ノ髮アリ全ク鮮血ノ染ムル所タリ而シテ死

六者ノ有リシ船ハ支那人ノ大船ニシテ櫓七具ヲ要スヘシ一切之レニ番號ナシ

リリジフル手署

○第四號

第二百二十四號「サイゴン」廳

電報千八百七十四年六月二十三日午前九時「バリア」發

「バリア」司配官ヨリ大檢事ニ報告ス

余ニエール氏ノ死去ヲ証スル醫士ノ道詳ヲ今朝貴下ニ送致ス

リリジフル手署

○第五號

船底ニ棄タル一人ノ死体ヲ檢シ且其屍體驗視ノコヲ以テ「バリア」ノ司配官ヨリ求メタル「バリア」非役海軍醫下ニ署名ス

驗視

始メ一見シテ「歐羅巴」人ノ死体ナルコヲ認メタリ背ハ中背ニシテ大禪^{ツボ}ト襦袢ヲ着シ足ニ襪ト靴トヲ穿テ背七ヲ地ニテ鋪蒲團ニ倚リ長枕ヲ以テ頭ヲ高フシ兩腕体

八ニ沿フテ延ヒ服部ト胸ノ一部ハ上着ヲ以テ掩フタリ
而ルニ体ノ一部船底ノ水ニ侵潤セルヲ以テ己ニ腐破
ニ屬シ面体識別シ難ク五体モ亦己ニ蠱虫ノ爲メニ襲
ハレタリ「側ラニ於テ血痕及栗色ト鼠色ト半班ノ頭髮
長サ五「ミリヤメートル」許リナルアリ其髮固結シテ血
肉ノ附着セシモノト見ユ而シテ其船底臥床ノ諸具ニ
至テハ更ニ血痕アルヲ見ス

其後死屍ヲ甲板ノ上ニ揚ケ打返シテ之ヲ檢スルニ腦
部ノ背面全ク腐爛シテ首ノ左方ニ○○○（大切ノ文字
ナレハ解シ
カマシ譯者ノ）ノ續クアリト雖モ腐敗ノ故ヲ以テ其始
罪ニアラス

終ヲ限ルコト能ハス其他ニ至テハ腦蓋ニ挫傷ナシ又体
中挫折ナキヲ驗シタリ

因テ此疵傷（首部ノ
疵ヲ云）ハ即チ死ニ至ルノ原因ニシテ其疵
ノ持兇器ノ手ニ成リタルコトヲ檢シタリ

故ニ是ヲ診斷シテ一箇ノ謀殺ナリトス蓋シ其殺ヲ犯
シタルハ甲板ノ上ニ在テ其屍体ト臥床ノ具ヲ以テ船
底ニ下セシモノニテ其死シタルハ少シクトモ七日ノ
前ニアリシナラン

「バリア」千八百七十四年

九

ホアロー手署

〇一
〇第六號

第百六十四號

千八百七十四年六月二十三日「バリア」地方發ス

大檢事貴下ニ白ス

余謹テニエール氏ノ死ヲ證スル醫士道詳別紙ヲ貴下ニ送致ス

「バリア」司配官

リリンブル手署

千八百七十四年六月廿三日「サイゴン」府病院

大檢事ニ白ス余危篤ノ病症ニテ起ツコトヲ得ス故ニ貴下ノ招命ニ應スルヲ得ス

ジユレイ氏代

フアラシ手署

〇第七號

「サイゴン」病院

海軍第一級醫手署シ病室第九號第五十五番ニ臥スル商人ジユレイ氏ハ未タ起立シ外出スルノ容体ニ非ザルヲ証ス

一 千八百七十四年六月二十四日掛リ醫員手署

リリジフル手署

○第八號

第百九十二號「サイゴン」廳

電報千八百七十四年五月二十八日午前八時十五分「パリ」發ス

「パリ」司配官ヨリ「サイゴン」大檢事ヘノ報告

昨夕ノ電報ノ如ク「パリ」地方ノ醫官歐人ノ死体ヲ檢セシガ其死ハ全ク六日乃至十二日以前ノ事ナル可シ何トナレハ死体已ニ腐敗シ又一日モ措クヘカラス故

ニ健康保護ノ旨趣ニ基キ速カニ之ヲ埋瘞ス可シト命

シタリ

奈何シテ可ナラン乎死者ハ余ノ知己ニ非ラス而シテ又其何人タルヲ知ラス然レモ船中ニ見出ス處ノ冊子以テ其何人タルヲ知ルヲ得ヘシ只「サイゴン」ノ貴答ヲ待ツ

リリジフル手署

○第九號

ニエル謀殺
ニ附ジユレ
一ノ申立ヲ
証スル現詳

三 第百五十四號第一區警察所

千八百七十四年五月二十九日午後第八時下ニ署名セ
ル共和國檢事ノ補助司法警察官佛屬「コセンシーヌ」ジ
ーダン「郡全」カントン「當府第一區」ノ警察吏サアーヌシ
ヤル、バルテルミー敬ンテ具狀ス

全日午前第九時中央局警部ノ令ニ從ヒニエール氏謀
殺ノ糺問ニ切要ナル全社シユレー氏ノ供述ヲ得ンガ
爲メ余輩「サイゴン」ノ病院ニ赴ク處シユレー氏ハ本院
第九番室内ニ平臥セラレタリ同氏ハ全ク其知覺ノ能
力ヲ供ヘテ變ルコトナシ因テ余輩役目ノ主旨ヲ知ラシ
メタル所同氏ノ陳述セシコト左ノ如シ

全社員ニエール氏ハ本月十七日若クハ十八日ヲ以
テ木材買入ノ爲メ「サイゴン」ヨリ内地ニ發シタリ但
シ吾輩嘗テシヤム及ヒコントノ諸氏ヨリ買入レタ
ル船ニ乘リタリ而シテ其船ニ乗ル處ノ舟子合シテ
七名ナリキ

ニエール出發ノ時ハ百四十乃至百五十弗ノ金ヲ所
持シ其他米ニ「ピキユール」(量名不詳)及ヒ帆布及ヒ食糧等
ヲ所持シ又其衣服若干ヲ有セリ然レモ專ハラ絹製
ノ輕裘ト炮隊ノ用ニ用ヒタル粗布ノ大禰ノミタリ
キ又紅染ノ帽子ヲ有セリ○兵器ノ類ハ短刀一口ト

短銃二挺ヲ齎シタリ

ニエールガ「サイゴン」ヲ發セシ時ハ「エスパニーニユ」町ナル同氏が寓居ニ於テ種々ノ衣服及ヒ書類及ヒメルヘー氏及ヒ「クロフト」ノ金五十弗ト彼ガ出發ノ數日前ニ受取タル金三十弗トヲ入レタル荷物一箇ヲ殘シ置タル筈ナリ最モ其部屋ノ鍵ハ自カラ之レヲ携ヘタリト

於之乎吾輩シユレー氏ニ左ノ問ヲ下シタリ

問 ニエールガ「サイゴン」出帆ノ節其船中乗込ノ舟子

ニ就キ參考トナル可キヲ陳述スルヲ能ハズヤ

答 右舟子ノ「ニ」就キ參考トナル可キ事二件アリ

吾輩ガ嘗テ雇使スル處ニシテ既ニ我等ト旅行セ

シ數人ノ「ユヲリー」(舟子ナラン)ニエールト共ニ發

シタル筈ナリ其一ハセンシユー其二ハ子グウハ

ント其三ハ子グウハンシヤン其四ハ子グウハン

カアン其五ハ子グウハンユト稱シ皆安南人ナリ

其出發ノ前日曜ノ日ニ於テ余ハ金二弗宛ヲ彼等

ニ前渡セリ而ルニ其出帆ノ前夜ニ至リ彼等ハ此

旅行ヲ爲スヲ能ハス因テ自分等ノ爲メ此旅行ヲ

爲スヲ要スル處ノ七人ノ舟子ヲ誘フ可キ旨ヲ

告知シタリ故ニ余即時ニ其新入ノ各舟子ニ一弗宛ヲ前渡シタリ

問 今汝チガ指名スル處ノ「コワリー」ヲシテニエール

ト共ニ出發シタル答ノ五人ノ者ヲ以テ汝チニ示サハ汝チ能ク之ヲ見知ルヤ否ヤ

答 然リ余全ク之ヲ知ルナリ

問 汝チニエールト共ニ出發セシ舟子ニ就キ知ルコトアリヤ否ヤ

答 彼等ノ名ハニエールガ其部屋ニ殘シ置タル荷物ノ記簿中一葉ノ零紙ニ認メアル可キ答ナリ即チ

余自カラ出發ノ前其名ヲ記シタルナリ

余輩本日午後第五時ニ至リ再ヒ「サイゴン」病院ニ赴キ

再度シユレー氏ニ推問セシ所簡單以テ午前ノ陳述ニ

違ハズト云フニ過キス

因之其陳述ヲ讀聞セル所其正實ナルコトヲ確認シ余輩ト共ニ署名ス

警察吏

アスース手署

シユレー手署

九一 右法律ニ記スル所ノ用ニ供シ且ツ其効アラシメンガ

○二 爲メ諸事實實ヲ以テ該現詳ヲ記シ之レニ署名年月日
時ヲ書スル上文ノ如シ

警察吏

サアーヌ手署

○第十號

第五百五十三號

第一區警察所

シユレー氏
申立ノ内ニ
其話シアリ
シ一書ヲ探
索ノ爲メニ
エル氏ノ家
屋ニ入り探
索セシコラ
証スル現詳

千八百七十四年五月三十日午後第二時下ニ署名セル
共和國檢事ノ補助司法警察官佛屬「コセンシーヌ」「シヤ
ダン」郡全上ノ「カントン」當府第一區ノ警察吏サアーヌシ

ヤルバルテルミー敬ンテ具狀ス
ラントルコソド

本月二十九日記載セシ(ニエール謀殺ノ件ニ付キ)シユ
レー氏ノ証告スル處ノ百五十四號調書ノ繼續ヲ爲ン
ガ爲メ中央局警察吏ノ命ニ從ヒ全日午前第九時ニエ
ール氏ノ家宅ニ赴キ帳簿ノ中一ノ零紙ヲ以テ全月十
七日若クハ十八日ニエール氏ト共ニ出發セシ舟子七
人ノ姓名ヲ書記セルモノヲ搜リ得ントシタリ○余輩
ノ証據人トナル可キサチー及ヒナサツンノ兩人ヲ同
伴シタリ○又門戸ヲ開クガ爲メ余輩ノ爲メニアモニ
一 川氏ガ供ヘタル所ノ錠前職人壹人ヲ誘ヘリ

二

ニエール氏ノ家ハ「エスパール」町ニ在リ其家タル土手ノ下ニ倚ルモノニシテ表面小納屋アリ戸二口ト二ツノ窓アリテ家内ニ通ズ此二戸共ニ閉鎖シ各戸及ヒ其閉タル窓戸ノ上白紙ノ帶ヲ施シ朱蠟ヲ以テ之ヲ封シ蠟上ニ中央局警察吏ノ印ヲ捺シタリ錠前職人ハ兩戸ノ一ヲ開カントツトムルコト凡ソ一時間ナリタレモ遂ニ徒勞ニ歸シタリ余輩之レヲ看テ其内部ニ入ランカ爲メ無據窓戸ヲ開カシメントシタリ今回ハ何ノ難ナク一分時ニシテ其事ヲ畢リ其分銅一ツヲ取り離シ余輩遂ニ内ニ入ルコトヲ得タリ

家内三室アリ各室板壁ヲ以テ之レヲ仕切り一戸アリテ各室ニ通ス第一室ニ在テハ余輩一片ノ紙葉ヲ見ス唯一ノ机アツテ上ニ二三ノ鉢皿食机氈及ヒ二三ノ壺子アルノミ第二室ニ於テ空壺子ト蚊帳付ノ寢臺一箇ノミヲ見タリ

過キテ第三室ニ至レハ一ノ臥床アリテ封シタル荷物三箇アリニエール氏ノ有ニ係ル又封ヲ用ヒサル一荷物アツテジュレー氏ノ有ニ屬ス

三

此室内ニ一ノ棚アリ上ニ若干ノ書籍ト紙アリ余輩力ヲ盡シテ搜索ヲ遂クルト雖モ其目的ニ達スルコト能ハ

四二

ス然レモ其記簿ノ中ニエールガ一本ヲ查出シタレハ之レヲ中央局ノ警察吏ニ渡セリ○余輩ハジユレー氏ノ荷物ヲ開カスジユレー氏ハ余輩搜索スル所ノ書類ハ机上ノ書籍中ニアルヘキ筈ナリト述ヘタリ而シテ余輩搜索ノコトヲ畢テ后ジユレー氏ヲ見ルニ其書ハニエールノ持行タルモ計リ難シト述ヘラレタリ右ノ搜索ヲ遂ケタル后其家ヲ出テ始メ入りタル所ノ窓戸ヲ閉テ先キニ戸ヲ開カンカ爲メ取去ル所ノ封紙ヲ施シ他亦タ二口ノ戸ニ於ケルモ全上ノ如クナシ各々帶封上朱蠟ヲ以テ四箇ノ封印ヲ捺シタリ

又ニエール氏ノ家宅ニ入ル者ナカラシメンカ爲メ之ヲ監視セシメタリ

警察吏サアトヌ及ヒマサリン共ニ上文記スル所ノ眞實ナルヲ陳シ該現詳ニ署名ス

千八百七十四年五月三十日

警察吏

サアトヌ手署

證據人

ソ子トマサン

五二

○第十一號

第百六十八號佛國藩地 「コツシヤンシーヌ」ノ「サイゴ

ン」(都會ノ名)

千八百七十四年六月一日安南人子クバントウノ拘捕
ノ事ヲ證スル現詳第百六十八號

被疑人

子クバントウ

第一區警察所

千八百七十四年六月一日午前八時半該市第一區ノ警
察吏サンヌ及ヒ共和國檢事ノ補助タル「ジヤシユウ」

州ノ司法警察吏シヤルバルテルミー相共ニ手署ヲ下
記シタル上謹テ左ノ事由ヲ具狀ス

昨五月三十一日午前十時亞細亞人ナル警察官吏子ク
バンニヨン氏カ余輩ノ面前ニ出頭シ陳述セシ「左ノ
如シ

當日午前八時頃余「サイゴン」河ニ於テ船中ニ殺害セラ
レタルニエールニ隨從シテ内地ニ向ケ旅行シタル所
ノ安南人子クバントウ捕拘スヘキノ命ヲ中央局ヨリ
受ケタリ

七二 同日ノ午前九時頃「クオンラン」ノ近傍ニ在ル支那人ノ

八二

「アロヨ」ノ堤上ヲ通行セシ時余ガ探索スル人ナリト
思イシ一ノ土人ヲ見タリ是レ則チネクバントウナル
ヲ知り依テ之ヲ拘捕シ直チニ之ヲ「クオンラン」ノ警察
所ニ拘引セリ該警察所ハ又之ヲ中央局ニ護送シタリ
ト中央局ニ於テハ官吏子クバンニヨシテ此土人子ク
バントートニ突合セ即チ同人ハ去ル五月三十一日支
那人ノ「アロヨ」ノ堤上ニ於テ拘捕セシモノニ相違ナ
キ旨ヲ承認セリ
子クバンニヨシテ其供述セシ所ヲ讀聞セタルニ之レ
ガ確實正適ナル旨ヲ自認シ併セテ我輩ト共ニ手署シ

タリ

警察吏

サンヌ手署

我輩此ノ事ヲ証スル爲メニ此現詳ヲ送り適當ノ用ト
効トヲ生スヘキ爲メニス且年月日ヲ書シ之レニ手署
ス

警察吏

サンヌ手署

二十八歳 証人 子クバンニヨシテ警察官吏

九二

○第十二號

第百七十一號

千八百七十四年六月一日「コセンシーヌ」國ノ「サイゴン」府

ニエールノ事件ニ關シテ罪人子クウアンソローヲ拘引スルノ調書

中央局ニ於テハ三百十二號ニ記載ス

第一區警察所

千八百七十四年六月一日午前八時「サイゴン」府ノ第一郡警部共和國檢事補助司法警察官サンヌ、シアル、ハ

ルテルン等謹テ手署シ上言ス本日午前第七時中央局ヘチニヨールト申ス者出頭致シ左ノ如ク陳述ス

五月三十一日午前第八時中央局ニ於テ余ジュレー及ヒニエール君ニ屬スル船ノ水夫ナルソート名ツクル「アンナン」人ヲ求ムルノ命ヲ受ケ同日午前第九時「マスマラソン」町ノ堤上ヲ歩行セシ時余ノ求ムル所ノソート名クル「アンナン」人ヲ偶然見出シタリ此ノ「アンナン」人ハ橋上ニ立テ居タリシカ余其人タルニ相違ナキヲ見認メ之ヲ中央局ニ拘引シタリ

一三 中央局ニ於テ警察官吏チーニヨールヲ土人子グバン

二三

ソート對面セシ所チニヨール氏ハ當五月三十一日午
前第九時橋上ニ拘引セラレタル即チソートナルコヲ認
メタリ

官吏チニヨールニ此陳述セシ所ヲ讀聞セ其實ナル
コヲ認メ余ト共ニ手署シタリ

警察吏

ランヌ 手署

警察卒

チニヨール 手署

證人

二

二十九年チニヨール警察官吏手署

○第十三號

警察所

子クハンソ
ン拘捕ノ現
詳

千八百七十四年六月一日午後第四時下ニ署名セル共
和國檢事ノ補助司法警察官佛屬「コンヤンシーヌ」「シーダ
ン」郡同上ノ「カントン」當府第一區ノ警察吏サアームシ
ヤルハバルテルミール敬テ具狀ス

三三

同日午前第八時中央局ヨリ嘗テ内地旅行ノ爲メニエ
ール氏ト共ニ出帆セシ舟子ノ一人タルチグウアソソ
ト稱スル安南人搜索ノ命ヲ受ケタリ

四三

同日午前第九時「ユーラングラン」ノ近傍「アロヨシ」ノ
 「波止場」ヲ過クル所乃チ余カ索ムル所ノ人ナリト
 認ムヘキ一個ノ安南人ヲ看タリ故ニ先ツ其人柄確知
 ノ上余ハ之ヲ「カンラン」ノ警察所ニ引致シ該署ヨ
 リ之ヲ中央局ニ送致シタリ
 官吏ネグウハンダニヨント子グウント對質セシムル
 所子グウハンニヨンハ五月三十一日「アロシ」ノ波
 止場ニ於テ逮捕セシモノタルヲ確認セリ
 警察卒子グウハンニヨンノ陳述ヲ讀聞セル所同人其
 實ノ適セルヲ認メ且ツ余輩ト共ニ署名ス

警察吏

サアーヌ 手 署

リリシブル 手 署

我輩此事ヲ證スル爲メニ此調書ヲ送り適當ノ用ト効
 トヲ生スヘキ爲メニス且年月日ヲ書シ之ニ手署ス

警察吏

サアーヌ 手 署

證 人

二十八年 子グウグニヨン 警察吏手署

五三

○第十四號

「コシヤンシーヌ」國「サイゴン」府千八百七十四年六月二日
 ニエール氏ニ關スル事件「アンナン」人ソートジュレー
 ト對質現詳○被疑人ヌグウアンソーナリ○第百七十
 一號○中央局ニ於テ第三百五十二號ニ記ス

第一區警察所

本日千八百七十四年六月二日午後第八時當府ノ第一
 「ジャダン」郡ノ警察吏兼共和國檢事ランヌシアル、
 バルテラン等謹テ手署シヌグウアンソー拘引シタル
 ノ調書即チ本月第一日ニ記シタル第百六十六號ノ續
 トナシ充分ニ事實ヲ明白ニセント余輩ソート共ニ昨

日午前第十時「サイゴン」府ノ病院ニ行キジュレー氏ト
 面接セシメン「フ」ヲ欲シタリ此ノジュレー氏ハ「サイゴ
 ン」ノ河ニ浮ヘル船中ニ於テ暴殺セラレタルニエール
 氏ノ同社員ナリ
 余輩病院第九室ノ入口ニ於テジュレー氏ノ椅子ニ倚
 リタルヲ見タリ
 而シテヌグウアンソーヲジュレー氏ニ接セシメ下ノ
 問答ヲ記シタリ

問 爰ニ伴フ所ノ「アンナン」人ヲ知ラスヤ

ジュレー氏ハ左ノ如ク狐疑スル「フ」ナク應答シタ

リ

答 余ハ全ク貴下ノ伴フ所ノ「アンナン」人ヲ知ル此人
 物ハ余ノ水夫タリシカ給料ノ僅少ナルヲ口實ト
 シニエール氏旅行前ニ出立シタリシ
 此陳述ヲ爲シ相共ニ事ノ信ナルヲ見認め余ト手
 署シタリ

警察吏

サンヌ 手署

ジュレー 手署

余輩ハ右ノ如ク調書ヲ筆シ權利者ノ權利ヲ伸フル爲

メ此書ノ價アラントヲ希望シ日月ヲ記シテ手署ス

日月ハ前ニ記スル如シ

警察吏

サンヌ 手署

○第十五號

第一區警察所

千八百七十四年六月二日午後第六時半下ニ署名セル

共和國檢事ノ補助司法警察官佛屬「ユシヤンシーヌ」「ジャ

九三 タン」郡同上ノ「カントシ」當府第一區ノ警察吏サアーヌ

ジュレー氏
 ト「子グハン」
 ト「ウ」ト對質
 フ証スル現
 詳

○四
シヤル

安南人子グウアントーノ捕拘ヲ證スル所ノ第百六十
六號ノ調書(プロセーウエルバール)以下ニ次キ敬テ具
狀ス○余輩九月第一日午前十時同人(子グウア)ヲ伴ヒ
彼「サイゴン」河ノ船中ニ於テ殘忍ノ謀殺ヲ受ケタルニ
エールト同社ノシユレー氏ト對質セシメンカ爲メ「サ
イゴン」ノ病院ニ趣ケリ
余輩該院第九番室ノ前ナル廊下ノ長椅子ニ於テシユ
レー氏ノ横臥スルヲ見タリ因テ子グウアントーヲ同
子ノ面前ニ示シ訊問セシト左ノ如シ

問 足下ハ面前ノ安南人ヲ知ルヤ否ヤ

時ニシユレー氏一秒時間ノ遲疑ナクシテ余輩ニ

答フル所左ノ如シ

答 示ス所ノ安南人余全ク之ヲ知ル彼レハ去ル五月
十八日若クハ十九日ニ於テ余カ既ニ陳述セシ如
クニエールノ船中ニテ其船最後ノ出發ノ時ノ舟
人六人中ノ一人ナリ而シテ此安南人ノ氏名ノ如
キハ余絶テ之ヲ知ラスト雖モ余カ今述ヘタル所
ハ盡ク確實ノコトノミタルヲ確言スルナリ

一四

シユレー氏ガ余輩ニ對シテ右ノ答ヲ爲スヤ心氣

二四

静穩ニシテ全ク知覺ノ能力ヲ備ヘタリ爲メニ附
言ス

以上ジュレー氏ノ吾輩ノ問フ所ニ答ヘタル所ヲ記シ
之ヲ同子ニ讀聞セタルニ同人再ヒ其實ナルコトヲ認メ
余輩ト共ニ署名ス

警察吏

ラアーヌ手署

ジュレー手署

右ノ如クナルニ因リ余輩法律ニ定ル所ノ用ニ供シ且
其効アラシメンカ爲メ該現詳ヲ記シ且之ニ署名シ年

月日時ヲ記スルコト上文ノ如シ

警察吏

ラアーヌ手署

○第十六號

第一區警察所

千八百七十四年六月二日午後第三時

檢事補助司法警察官「シカデン」州（コシヤンシーヌ）法朗西
（領）第一區警察吏 テンチスバル、バルテルミ―調印シ

三四 而シテ

四四

安南人子グウワンチヨヲ逮捕スル本月一日ノ第百六十六號調書ヲ追書スル爲メ本日午前第九時子グウワンチヨヲ召連レ「サイゴン」病院ニ至リ「サイゴン」ノ川上舟中ニ殺害セラレシニエール氏ト結社セシジュネー氏ト對質セシムル其始末ヲ開陳スルヲ左ノ如シ

ジュネー氏ハ第九號病室前ノ椽側上ニテ椅子ニ掛リ居タリ安南人子グウワンソンヲ其面前ニ出シ而シテ左ノ訊問ヲ爲ス

問 茲ニ來リシ安南人ヲ知ルヤ

但シジュネー氏ハ再度ノ訊問ニモ躊躇スルヲナ

ク其洪答スルヲ左ノ如シ

答 此安南人ハ實ニ余カ知ル所ニシテ余カ同社員

ニエール氏ノ乗組タル船ノ舟子六人中ノ其一人ナリ○余ハ同人ノ名氏ハ知ラスト雖モ乗船中ナノ者タルヲハ決シテ相違之レ無キナリ

但シジュネー氏右答ヲ爲スノ際ハ病勢平穩ニシテ全ク平生ノ心カヲ有セシ者ノ如シ依テ茲ニ之ヲ追加ス

五四

本文答詞ヲジュネー氏ニ讀聞カセシ所全ク相違無之旨申立ツ依テ余輩ト共ニ署名ス

警察吏

サンヌ手署

ジュレー手署

法律執行ノ爲メ信實ヲ以テ該調書ヲ記シ年月日ヲ
書シ調印スルコト此ノ如シ

警察吏

サンヌ手署

○第十七號

「アツシヤンシーヌ」(國名)ノ「セイゴン」(都會ノ名)

千八百七十四年六月二日安南人子グバンミュオント

ジュレー氏トノ突合ハセテ證スル現詳

百六十七號

被疑人

子グバンミュオン

第一區警察所

千八百七十四年六月二日該市(即チ「サイゴン」)第一區ノ

警察吏サンヌ及ヒ「ジャシユ」州檢事補助司法警察官

吏シヤル、バルラルミ、相共ニ手署ヲ下記シタル上

七四 當月一日ニ差出サレシ安南人子グバンミュオンノ拘

八四 捕ヲ證スル所ノ調書第百六十六號ニ續キ謹テ左ノ事

由ヲ具狀ス

余輩ハ午前十時頃此安南人ヲ率ヒ彼ノ「サイゴン」河ニ於テ殘忍ニ殺害セラレシ不幸ナルニエール氏ノ社友タルジュレー氏ニ之ヲ突合ハサンカ爲メ「サイゴン」ノ病院ニ趣ケリ

我輩ハ第九番室ノ椽側ニジュレー氏カ長椅子ニ倚ルヲ見其目前ニチクバンミユオンヲ導キ同氏ニ左ノ問ヲ揚ケリ

問 足下ハ此安南人ヲ見知レル乎

答 余ハ此安南人ヲ充分ニ見知レリ併シ其姓名ハ知

ラス既ニ五月ノ十八日カ十九日カニ貴官ニ申述ヘタル通り余カニエール氏ト共ニ内地ニ旅行セシトセシ時彼者ハニエール氏ノ船ノ人夫ニテ在リタリキ

ジュレー氏カ此答ヲ爲シタル時ハ殊ノ外靜然トシテ少シモ容子ノ平生ニ替リシ体ナシ
右ノ問答ヲジュレー氏ニ讀聞セシカハ同氏ハ其事ノ誠ニ確實ナル旨ヲ承認シテ我輩ト共ニ手署シタリ

九四

サ
ン
ヌ
手
署

○五

シユレ一 手署

我輩ハ確實ナル事ノミヲ舉ケ現詳證書ヲ作爲シ後日
之ヲ其用立ツヘキニ用立ンカ爲メ前文ノ年月日之ニ
手署ヲ下記シタリ

警察吏

サ
ン
ヌ
手
署

○第十八號

第一區警察所

千八百七十四年六月三日午前十時

子グハンソ
ン問答ヲ証
スル現詳

檢事補助司法警察官「シヤデン」州（ユシヤンシ一）ヌ法朗西

領（第一區警察吏ラン）子スバル、バルテルミー「サイゴ
ン」川上舟中ニ於テ「ニエール」氏ヲ殺害セシ其始末取調
ノ爲メ記セシ百六十六號調書ヲ追加セント欲シ右殺
害ノ主者中ノ一人ナリトシテ逮捕セシ安南人「子グワ
ン」ソソ訊問ノ次第ヲ左ニ開陳ス

問 汝カ姓名住所等ヲ聞ン

答 余ハ「子グワン」ソソト申シ本年二十五歳ニシテ「ピ
ニニアン」ニ住スル舟子ナリ

一五 問 汝ハ是迄刑罰ヲ受ケタルヲナキヤ

二五

答 處刑ヲ受ケシヲナシ

問 汝ハ「サイゴン」ニテ内部通行ノ爲メ去ル五月中出立セシ法朗西人ニエール氏ノ所有船乗組六人ノ舟子ノ中ニ居リタリシヤ

答 余ハ右ノ船ニ乘リ居タル舟夫ニハ非サルナリ

問 汝ハニエールノ爲メニ用ヒラレタル前ヨリ同人ヲ知り居タリヤ

答 其前ハ更ニ知ラサリシナリ

問 汝ヲ紹介シキニエールノ家ニ入レ舟子ト爲セシハ何人ナルヤ

答 一ヶ月五弗ノ割合ニテニエール氏ノ舟子ニ紹介イタシ吳レタル者ハ同氏ノ船頭安南人ミユランニテアリタルナリ

問 右雇前ヨリミユラン(被疑人)ヲ知り居タリヤ

答 前ヨリ知り居タル者ナリ然リト雖モ別段往來致セシヲナシ

問 ニエール氏ト共ニ「サイゴン」ヲ出立シタルハ何日ノ何時ニテアリタルヤ

三五
答 出立ノ時日ハ委細ニ申シ難シト雖モ多分十三四日ノ頃ナラン時刻ハ大凡正午ト存スルナリ

四五

問 出立前ニエール氏ヨリ前金ニ給料ヲ拂ヒシテアリタルヤ

答 否ナ拂ハサリシナリ乍去一弗ハ各舟子ニ前拂ニナス可キ旨同人ヨリ申聞ケタリ「サイゴン」出立ノ後「シード」港ニ達スル前右金ヲ各舟子ニ渡シ且ツミランニハ三弗ヲ與ヘタリ

問 ミランハ一錢モ前金ヲ受取ラスト申シタリ

答 ミランノ申立タルハ間違ニテ余カ今申ス所ハ信實ナリ

問 「サイゴン」出立ノ前ニエール氏ノ多クノ商品ト金

錢ト所持セシ事ヲ知ラサルヤ

答 余ハ食糧ノ爲メノ米ハニエール氏ノ舟ニ積込タルヲ見タリト雖モ金錢ノ有無ハ絶テ知ラサルナリ

問 汝等ノ旅程ハ何日ヲ要スル答ナリシヤ

答 右ハニエール氏ヨリ何共申聞ケサルカ故ニ余ハ其幾日ヲ要スル答ナリシヤ更ニ知ルヲ能ハサルナリ

問 「サイゴン」出立ノ前ニエール氏ハ兵器ヲ所持セシ

五五
ヤ

六五 答

ニエール氏ノ大庖丁ト短銃ヲ所持シタルハ見掛ケタリ

問

汝カ出立後ノ景況ヲ委細ニ聞カン但シ必ス偽リナキ有体ヲ申述フヘシ

答

既ニ申述タル如ク余カ「サイゴン」ヲ出立シタルハ十三四日ノ事ニシテ正午ニ開帆シ夫ヨリ三時間許ハ順風ニテ都合好ロシト雖モ三時ノ後ニ至リテ方位ヲ誤リミランヲ初メ余カ輩一同盡力シタリト雖モ終ニ他船ニ乗掛ケタリ故ニ右衝突ニ依リ余輩ノ楫ヲ破壊シ去リタリ故ニニエールハ大

七五

ニ怒リミランヲ苛責シ且其賃銀二弗ヲ取戻サント申聞ケタリミランヲハ苛責ヲ受ケテ大ニ不満足ヲ抱クト雖モ猶ホ其船ヲ進メ四五分時間ヲ經タリ其節余輩ハ船ノ後部ニ於テ働キ居タリ余ハ此時ニハ前楫ノ所ニ在リテ舳部ニ回リ來リシ所ミランハ木片ヲ以テ倒レ居タル法朗西人ノ首ヲ打チタリ其時他ノ舟子ハ何レモ法朗西人ニエールノ上ニ飛掛リ楫ヲ以テ全身ヲ打擲セリ余ハ是ヲ見テニエールヲ殺スナラント察セシ故直チニ水中ニ飛入り此場ヲ逃レ去リタルナリ而ルニ五月

三十一日「サイゴン」ニ於テハ余ハ警察卒ノ爲メニ捕縛セラレ警察所ニ拘引セラレタリ

問

ミラン及ヒソンノ申立ツルニ據レハ却テ汝カ偽者ノ如シ何トナレハ右兩人ノ申口ニハ殺害ノ爲メニハ汝チ最モ力ヲ盡セシ趣キナレハナリ汝ハニエールノ頭髮ヲ握リテ之ヲ引倒シソーニ其頭ヲ切ラシメント爲シタル時他ノ舟子等一同ニテ楫ヲ以テ之ヲ打殺セリト聞キタルナリ

答

ミラン及ヒソー等カ余ヲ告クルト此ノ如キハ是レ全ク偽リニテ且十三四日ノ事ナリト申立ツル

モ余一人ノミナリピョー及ヒランハ之ヲ知ラスト申スナリ

右子グワソソニ讀聞カセル所正實間違ナキ旨ヲ申立且文盲ニシテ自身ニ署名シ難シト述フ

警察吏

サンヌ手署

通辯

ヒョアラー手署

本文ノ如ク申立ツルニ依リ檢事ノ命令ヲ乞ハンカ爲メ其儘子グワソソヲ拘留ス

○六

法律執行ノ爲メ正實ヲ以テ該現詳ヲ記シ年月日及
ヒ署名スルコト此ノ如シ

警察吏

サンヌ手署

参考

子グワンソンハ本年二十五歳「ヒュンニユラン」ニ住ス
ル舟夫ナリ其親族ノ名氏ヲ不知且文盲ナリ
未タ一度モ罰ヲ受タル事ナシト述フ
子グワンサン及ヒ子グワンバン共ニ逃亡セシ由
ナリ

鼻拭一箇書記局ニ送達ス

○第十九號

佛國藩属地「ユシヤンシーヌ」ノ「サイコン」(都會
ノ名)

一千八百七十四年六月三日安南人子クバンミュオン
ノ糺問現詳第百六十七號

ニエール氏ノ事件

被疑人 子クバンミュオン

一六

第一區警察所

千八百七十四年六月三日該市即チ「サイゴン」第一區警察吏ランヌ及ヒ「ジャシユ」州ノ檢事ノ補助司法警察官シヤルバルテルミ―相共ニ手署ヲ手記セシ上
 彼ノ「サイゴン」河ニ於テニモ―ル氏ノ殺害セラレタル事實ヲ証スル第百六十六號ノ現詳ニ續キ謹テ左ノ事由ヲ具狀ス

前號ニ記載シタル重罪ノ犯人ニ加ハリシ者タルノ疑ヲ受ケ(百六十七號ノ調書)遂ニ五月三十一日拘捕セシ安南人チクバンミュオンヲ余輩左ノ如ク糺問セリ

問 汝ノ身分族籍ハ如何

答 余ハ素ト「サイゴン」ニ於テ出生シ當年二十三歳ニテチクバンミュオント名ツク職業ハ水夫ナリ住所ハ「ユオンクロー」ニ在リ

問 去月中ニエール氏ガ旅行ノ時汝ハ同氏ガ乗込ミタル船ノ水夫ニ有タル乎

答 然リ

問 汝ハ其水夫タリシ時其船中ニテ如何ナル職務ヲ擔任セシ乎

答 余ハ他ノ水夫ヲ指揮スル役ナリキ

問 「サイゴン」出立ノ時ニエール氏ノ船中ニ幾許ノ人

夫アリシヤ

答 余ヲ除キテ六人アリキ

問 ニエール氏ノ旅行ニ付何人カ之ニ人ヲ雇ヒ遣ハセタルヤ

答 夫ハ余ナリニエール氏出立ノ日ノ朝同氏ノ依頼ニ付余自カラ他ノ水夫ヲ同氏ノ船中ニ誘導シタリ

問 素ト汝ハニエールノ人夫ニテハ在サリシニ何等ノ故ニテ同氏ニ此世話ヲ爲シタル乎

答 ニエール氏出立ノ前日余ハ或人ヨリ其船中人夫

四

ノ缺アルヲ聞キタリ故ニ其人ニ依リ余ヲ雇ヒ吳レ度旨ニエール氏ニ掛合ヒタル處同氏モ其社友シユレー氏モ共ニ之ヲ許諾セリ

問 汝此二氏ト如何ナル約束ヲ爲シタル乎

答 余ハ一ヶ月七弗ヲ受ケ他ノ六名ハ五弗ヲ給セラ
ル、ノ約ナリ

問 「サイゴン」出立ノ前汝ハニエール氏ヨリ前拂トシ
テ金額ヲ受取ラサリシ乎

答 余ハ未タ少シモ受取リタル事ナシ他ノ人夫モ亦
然リ

六六 問

然ラハ汝ト云フ所他ノ人夫ノ言ト齟齬スルナリ
ニエールルハ「サイゴン」ニ於テ汝等ニ金ヲ渡スルハ
汝等ノ來ラサランコトヲ畏レテ之ヲ渡サス南港ニ
着スルニ及ンテ始メテ各人一弗ヲ受取ルヲ得タ
リト是レ他ノ人夫ノ申述タル所ナリ

答

夫ハ彼等カ偽リヲ吐タル者ナラン余ノ云フ所ハ
皆正實ナリ余ハ飽迄モ之ヲ固執ス

問

汝カ「サイゴン」ヲ出發シタルハ何日ノ何時ナリシ
乎

答

我等ノ出發シタルハ去ル五月十五日ノ午頃ナリ

問

此旅行ハ幾日ヲ要スル見込ナリシヤ汝之ヲ知り
タル乎

答

ニエールル氏ハ此事ヲ告ケス余ノ雇賃ハ月定メノ
コナレハ余モ又々敢テ之ヲ問ハサリキ

問

汝「サイゴン」出立ノ前ニエールル氏カ多分ノ商品ト
巨額ノ金貨ヲ携帯セシヲ目撃セサリシヤ

答

ニエールル氏カ食具及ヒ食物ヲ已レノ分ト我等ノ
分ニ至ル迄船中ニ積込ミシハ余之ヲ見タリ併シ
金貨ノ有無ハ余之ヲ知ラサルナリ

七六 問

ニエールル氏ハ兵器ヲ携帯セサリシヤ

答

余ハ彼カ連發銃ニ短刀ヲ所持スルヲ見タリ

問

是ヨリ汝ハ五月十五日「サイゴン」出立ノ後ニエー

ル氏ト汝等トノ間ニアリタル事逐一申述フ可シ

決シテ偽言ヲ吐ク可ラス

答

余カ既ニ陳述シタルカ如ク我等(即チ六名ノ人夫

ニエール氏及ヒ余)ハ去ル五月十五日ヲ以テ「サイ

ゴン」ヲ發シ内地ニ向ケ旅行ヲ爲シ始メリ同日ノ

午後十時頃迄ハ何モ言フ程ノ事アラサリシカ唯

時々ニエール氏ハ我等カ進ミノ遅キヲ憤リ惡言

ヲ吐キ散シタルノミ而シテ十時ノ頃余ハ船ノ舳

ニ在リニエール氏ハ釣床ノ中ニ眠レリ其時「子グ

ハンソー」チクハンソン」ノ兩人余ノ所ニ來リニエ

ールヲ殺害シ其金銀ヲ掠奪セン「ヲ勸メタリ余

之ニ答ヘテ若シ左様ノ事ヲ爲スキハ必ス捕縛セ

ラレ遂ニ誅戮ヲ蒙ルニ至ラント云ヒ之ヲ拒絶シ

タリキ依之彼ノ二人ハ余ノ前ヲ退キシカ又無程

シテ他ノ人夫等ト共ニ來リ我等ハニエール氏ノ

首ヲ取ル「ニ決シタリ故ニ若シ汝ノミ之ニ同意

セスシテニエール氏ヲ防キ又ハ救援ヲ乞ノ聲ヲ

舉ケ我等ノ企ヲ妨ケントナレハ汝モニエール氏

ト同様ナルヘシト云ヒ余ヲ切ヤカセリ余ハ此ノ如キノ域ニ陥リ大ニ恐怖ノ思ヒヲ懷キ據トユロナク之ニ同意ノ旨ヲ約シタリ斯ク余カ同意スルヤ否ヤトナシハ直チニ棒ヲ取り幾度トナクニエール氏ノ頭ヲ打チ他ノ人夫モ又々同時ニ棹ヲ以テ其頭ヲ打チ夫ヨリソンハニエール氏ノ頭髮ヲ掴ミ船端へ引摺ラントスルニ當リテ其從犯モ亦棹ニテニエールノ身体ヲ推シ出シタリ其時迄ソシハ何事ヲモ爲サ、リシカ是ニ至リテ短刀ヲ以テ其首ヲ切ラント欲シタレモ其目的ヲ遂ケサル

ヨリ刀ヲ用ヒテ之ヲ鋸切シタリ而ルニ猶ホ其ノニエール氏ヲシテ充分死ニ至ラシムルヲ得サリシナリ

此所行ヲ爲シタル後ソンハ衣服ヲ以テニエールノ死骸ヲ掩ヒ而シテ其徒黨ト船中ヲ搜索シタリ併シ余ハ之ニ預カラサリキ

ソンカ金貨ノ入りタル囊ヲ見出シテヨリニエール氏カ其出立ノ前船ニ入レタル酒食ヲ出シテ飲食シタリ

斯クシテ時刻ヲ移シ翌朝二時ノ頃ニ至リテ舟ヲ

陸地ニ着ケ陸ニ上リ而シテニエール氏ノ死骸ヲ
船中ニ捨置タル儘直チニ其場ヲ逃遁セリ

五月三十一日余支那人ノ「アロゴ」ノ堤上ニ居タ
リシ時警察卒ニ拘ヘラレ遂ニ警察所ニ引カレタ
リ

問

汝ニ問ヲ掛ケルニ先タチ汝ノ述ヘタル所他ノ犯
人ノ言ト齟齬スル者アルヲ言聞カセンソ_ン及ヒ
ト_一ハ汝カニエール氏ヲ謀殺シタリト云ヒ又タ
ソ_ン及ヒチ_一ハ自ラ犯罪ニ加ハラサルノミナラ
ス曾テニエール氏ノ船中ニ入ラサリシト云フ其

故如何

答

他ノ犯人ハ各其云ハント欲スル所ヲ云フナラシ
併シ今迄余ノ述ヘタル事ニ於テ毫モ詭ハル所ナ
シ是レ余カ保証スル所ナリ

問

ニエール氏ヲ殺害シテヨリ汝モ他ノ犯人ト共ニ
飲食シタル乎

答

然リ余モ共ニ飲食シタリ然レモ他ノ犯人ヨリ強
テ進メラレタルニ因ルナリ

問

船中ニ在リタル金銀ハ如何カナリシ乎
三七 答 余ハソ_一ノ手ヨリ八弗ヲ受取リタリ他ノ犯人モ

多分之ニ前後ノ金額ヲ受ケタルナラン

問 其外船中ニ在リシ商品ハ如何カナリシ乎

答 ニエール氏ノ死体ト之ヲ殺害スルニ用ヒタル短

刀ノ外ハ皆之ヲ水中ニ投ケ込ミタリ

問 何故重罪ヲ犯スニ用ヒタル兵器ヲ船中ニ捨置シ

乎

答 余之ヲ知ラサルナリ

問 汝ハニエール氏カ「サイヤン」出立前ヨリ短刀ト連

發銃ヲ携帯セシ旨ヲ述ヘタリ其兵器ハ如何ナリ

シヤ汝チ之ヲ知ル乎

答 短刀ハ商品ト共ニ之ヲ水中ニ投シタリ連發銃ハ

ソシカ其下着ニ匿シテ上陸シ上陸ノ後ハ之ヲ袋

ニ包ミタリ

問 汝ノ云フ所ハソシノ言ト大ニ差ヘリ

答 ソシハ僞言ヲ吐キタルナリ余ハ飽迄モソシカ連

發銃ヲ持行キタリト言ヒ張ラン

問 然ラハ汝ハソシカ何處ニ此連發銃ヲ持行キタリ

ト云ヒ得ル乎

答 夫ハ實ニ容易ノ事ナリ

五七 問

殺害ヲ爲シタル所トソシカ連發銃ヲ匿シタル所

トノ距離ハ何程ナル乎

答 此距離ヲ經ルニハ四五分ノ時間ニテ充分ナリ

問 ニエールノ以前ノ人夫ニシテ今度モ共ニ旅行ヲ爲ス可キ者ニシテ之ニ加ハラサリシ者アルヲ知ル乎

答 余ハニエール氏カ以前ノ人夫中ニテソトヲ知レリ其外ソトナル者アレトモ此者ハ旅行ヲ爲サ、リナリ

問 汝チ「サイゴン」ヲ發スルニ先ンシソトニエール氏ヲ殺スヲ約セサリシ乎

答 左様ノ事ハ決シテ之レ無シ何トナレハ仮令モ彼レヨリ之ヲ進ムルモ余之ヲ肯ンセサルヤ明ナレハナリ

問 汝ハソトト他ノ人夫ノ目前ニテニエール氏ヲ殺サンニ協議シタリト被疑人トトカ供述シ而テ其相違ナキヲ保セリ

答 余ハトトノ供述ヲ以テ斷然僞言ナリトス

問 汝ハニエール氏ニ從ヒシ諸人夫ノ知己ナル乎

答 余ハ只其面体ヲ見知ルノミナリキ

七七 問 被疑人ナルソトカ此等ノ人夫ヲ誘ハント汝ニ云

ハサリシ乎

答 然リ余ハソート共ニ之ヲ探カシタルニ相違ナシ
而テ現ニソーカチーヲ余ニ採用スルヲ得セシメ
タリ

問 ニエール氏ノ船ニ乗込ミシ六名ノ人夫ニテ未ダ
捕拘セラレサル者二名アリ汝チ其所在ヲ教ユル
ヲ得ルヤ

答 其一人ハ子クバンサント云ヒ以前ハ「クオンラン」
ニ住居セシカ當時其住所ハ何クニ在ルカ余之ヲ
知ラス併シ早ク其親族朋友ノ在ル所ノ「チユウシ」

ニ往カハ多分之ヲ探捜スルヲ得可シト思ハル今
一人ハ何處ニ於テ搜索スルヲ得ル乎余ハ之ヲ明
言スル能ハス唯船中其「子クバンサント」呼ハレタ
ルヲ知ルノミ

問 汝ハ何か外ニ云フ可キ事アリヤ

答 否併シ今一應余ノ述ヘタル事ニ少シモ偽リナキ
ヲ保セン

問 若シ汝ガ余輩ニ述ヘタル事ニ於テ偽リナシトセ
ハ汝ハ何故ニ「イエール氏」ノ船ヨリ上陸シタル後
路傍ノ官署ニ訴ヘサリシ乎

又タ「サイゴン」ニ着シテヨリモ何故ニ法廷ニ告發
スルヲ肯セサリシ乎

答

余モ敢テ之ヲ欲セサリシニ非ラサレモ恐怖ノ念
斷ヘサルニ由リ遂ニ之ヲ爲スノ機會ニ後レタル
ナリ

子クバンミュオン」ヲシテ他ノ被疑人ト突合ハセ
タニ此者ハ第一ソ一第二ソ一第三ト一第四チ一
ガニエール氏ノ船中ニテ人夫タリシ事ト去ル五
月十九日ノ夜ニエール氏ヲ殺害シタル事トヲ承
認セリ併シピユオク及ヒバンハ己レノ知ラサル

者ナリト述タリ

被疑人ネクバンミュオンニ其現詳ヲ讀聞カセタ
ルニ之カ其確定ナル旨ヲ承認シ而テ後チ親ヲ其
姓名ヲ署スル能ハスト陳述シタリ

警察吏

サンヌ手署

通 辨

ピユオー手署

前ニ談スル所ニ依テ余輩ハ子クバンミュオンヲ拘留
シ置キ之ヲ檢事貴官ノ處置ニ任セントス

二八 余輩ハ確實ノ事ノミヲ載セタル該現詳ニ前文ノ年月

日ニ於テ余輩ノ姓名ヲ手署ス

警察吏

サンヌ手署

○

参

告訴人 アレーニヤン

証據人 テモソン

考

被疑人

姓名子グハンミユオン 文盲ニシテ其親族姓名ヲモ辨ヘサル
年齢二十三歳 者住所「クランク」未タ曾テ刑ヲ科セラレシ事ナシト云ヘリ
「ロト」職業水夫

○第二十號

第百六十八號

第一區警察所

子グハンミ
ウノ問答ヲ
証スル現詳

千八百七十四年六月四日午前第八時下ニ署名セル共

和國檢事ノ補助司法警察官吏佛属「コシヤンシーヌ」シ

ダン「郡全上ノ「カントン」當府第壹區ノ警察吏サアヌシ

ヤルバルラルミー「サイゴン」ノ河船ニ於テ船主ニエー

ル氏ニ對シ犯シタル謀殺ヲ證告ノ爲メ去ル五月三十

日開載セシ所ノ調書ヲ繼續センガ爲メ敬ンテ具狀ス

去ル五月三十一日「サイゴン」ニ於テ拘捕セシ子クウハ

ントーハ第百六十八號ノ調書ニ因リ上文ノ罪ヲ犯セ

三八 シ本犯ノ一人ニシテ其被疑者タルニ因リ吾輩之ガ糺

問ヲ執行フ事左ノ如シ

問 汝カ身分ヲ知ラシムヘシ

答 余ハ子グウハントト稱シテ年二十四舟子ヲ業ト

シ「コキヨシ」ニ住スル者ナリ

問 去ル五月中ニエール氏ノ船出帆ノ時汝ハ其舟子

ノ中チニ加ハラサリシヤ

答 余ハ即チ其舟子六人中ノ一人ナリ

問 汝ヲシテ其ニエール氏ノ船ニ傭ヒ入ラシメタル

ハ何人ナリシヤ

答 夫ハ即チダ井ヨシ(其船長ナランカ不詳)ミユラン

ト稱スル人ニシテ余ハ月給五弗ヲ得ヘキ筈ナリ

問 汝ハ未タ其船ニ入ラサル前ミエラン氏ヲ知レリ

ヤ

答 余ハ確ト其日ヲ記臆スルヲ能ハスト雖モ凡ソ十

五日許リ以前ノヲニシテ時刻ハ大凡正午ノ頃ニ

ニテアリツラン(初面會ノ時ヲ云カ)

問 汝カ出帆前ニエール氏ハ前渡ノ名義ヲ以テ汝ニ

金ヲ與ヘシヲナキヤ

答 否ナ然レモ彼レハ中途ニテ之ヲ渡ス可シト云フ

五八 而シテ實地各舟子ニ一弗又ハ三弗ヲ與ヘタリト

信ス(本文不詳)

問 ミユランハニエールガ汝等ニ少シモ前拂ヲ爲シタルヲ無シト云ヘリ

答 夫レハミユランガ譌リタルモノニテ余ハ實ヲ申セシナリ

問 汝ハ出發ノ前ニエールノ船中夥多ノ貨財兵器及其他ノ荷物ヲ積込タルヲ知レリヤ否ヤ

答 ニエールハ其船ノ出帆前食糧ノ外一ノ庖丁ト短銃ト一挺ノ連發短銃ヲ以テ船中ニ入レシメタリ金ノ如キハ余曾テ之ヲ見タルヲ無シ

問 汝等ガ企テタル旅行ハ幾許ノ月日ヲ要ス可キ答ナリシヤ

答 ニエールハ之ヲ語ラサレハ余ハ之ヲ知ラサルナリ然ラハ今ヨリ汝カ船中ニ在リシ時ノ巨細精シク

問 語ル可シ然レモ唯其必ラス實事ノミヲ語ルヘシ答 余ハ固ヨリ其事實ノミヲ云フテ我ニ益アルヲ

知ルナリ故ニ今其巨細ヲ述フ可シ」楮既ニ述タル如ク「サイゴン」ヲ發シタルハ正午ノ「」ニシテ全日午後八時ノ頃ニ至レハ夜色暗黒佛人ニエールノ睡ルニ際ツテミユランハ漸ク之レニ近寄り棍棒

ヲ以テ彼カ頭ヘヲ打ツ但シ其棍棒ニハ刃ヲ加ヘタルナリ其時ニエールハ自カラ起ント欲シタレ
 厄奈如セン其時直チニ大勢ノ舟子彼レカ上ニ壓
 ヒ重ナリ各々刃ヲ手ニシテ之ヲ撃ツソシハ其髮
 ヲ握ツテ幾ント之ヲ船場ニ曳出シ之ヲ提持スソ
 一モ亦茲ニ來リ庖丁ヲ以テ痛ク其首ヲ打ツ然ル
 ニニエールノ首未ダ落ルニ至ラス因之ソ一ハ余
 儀ナク全一ノ庖丁ヲ以テ其首ヲ挽切シタリ然ル
 ニ尙其頭ト體トヲ別ニスルヲ能ハサリシナリ罪
 既ニ犯シ畢レリ時ニソシハ毛布一枚ヲ以テ其死

骸ヲ掩ヒ后船中ヲ穿鑿シテ金囊數箇ヲ取出シ各
 自机ニ倚リ出發前「サイゴン」ニ於テニエールカ齋
 ラセシ所ノ食物ヲ喰ヒ飽食痛飲午後二時ニ達シ
 テ止ム此時ニ至リ余輩ハ舟ヲ陸ニ寄セ一回其船
 ヲ下ルヤニエールノ屍體在ル船ヲ看棄テ、逃レ
 サラント欲シタルナリ

去ル三十一日余ハ「サイゴン」ニ於テ捕ヘラレ警察
 吏余ヲ引テ警察所ニ致シタリ

問 其罪ヲ犯スニ用ヒタル兵器ハ何人ノ所有ニ屬セ

○九 答

即チニエールノ所有ニシテ余輩カ海魚料理ニ用
ヒタル所ノ大庖丁ナリ

問 其兵器ハ如何ナリシヤ

答 多分之レハニエールノ屍体ト共ニ船中ニ殘セシ
ナラン

問 船中ノ積荷ハ如何セシヤ

答 全ク水中ニ投シタリ

問 何故汝等ハニエールノ死骸ヲ船中ニ殘セシヤ

答 何故死骸ヲ船中ニ殘セシ乎余カ知ル處ニ非ス

問 汝ハ其犯罪ニ加ハリ何カ加功セシトナキヤ

答 被疑者始メハ唯之ヲ傍觀シタルトヲ陳スト雖モ

后遂ニ彼ノソング首ヲ切ラントスル時ニ際リ亦

ヲ以テ數度之ヲ打タルトヲ自白ス(譯者云此一條答
辭ノ体裁ニ非ス)

シテ編者カ開陳ノ体ナリ蓋シ其主意
ヲ節約シテ書シタルモノナラソカ

問 ニエールガ出發ノ時所持セシ兵器ノ如何ナリシ

ヤ汝之ヲ知レリヤ

答 余之ヲ言フコト能ハスト雖モ懼ラクハ他ノ諸品ト

共ニ水中ニ投セシナルヘシ

問 ミユランハソング陸ニ上リシ后短銃ヲ隱シテ其

ルース(不詳誤字)ノ中ニ持チタリト陳シタリ如何

二九 答

ソノ短銃ヲ取りタルハ有ル可キナレ共余ハ彼ガ手中ニセシヲ見サレハ如何トモ云フ能ハス

問

抑ニエールヲ旅中ニ殺セシハ既ニ汝等「サイゴン」出帆ノ前一同(タ井ユント舟子六人)申合セシナラスヤ

答

余ハ決シテ之ヲ知ラズ余ガ云ヒ得ベクシテ實ナルハ「サイゴン」ヲ發スル暫時前ニ於テソノガミユランニ對シ他ノ舟子ノ面前ニ於テ半途ニシテニエールヲ殺サ、ル可カラズト語りタルヲ聞

タルノミナリ而レモ其返答ノ如何ナリシカ余ハ之ヲ聽サルナリ

問

ソノガ此語ヲ爲セシ時汝ハ彼ト何程隔リ居リシヤ

答

凡ソ「メートル」凡ソ吾三尺三寸余

問

何故汝ハ其聞タル處ヲ以テニエールニ告知セザルヤ

答

余ハ之ヲ爲シ能ハザリシナリ又余ハソノガ云タルモ眞實ニ云タルトハ信セザリシナリ左無クハ固ヨリ余之ヲニエールニ告クヘキナリ

三九 問

ソノ及ヒチハ彼等ノトニ就テ汝ガ告クル處ヲ

無寶タラシムルヲ云ヘリ何トナレハ彼レ等ハ
啻ニ其謀殺ノトニ與ミセサルノミナラス汝ノ如
ク舟子六人中ノ者ニ非スト言張ルナリ

答 夫レハソートチーガ偽ルナリ何トナレハ余ハ吾
言フ處ノ眞實ナルヲ誓フナリ又ソートハ即チニ
エールガ首ヲ切りタル者ナリチーノ如キハ余ト
同シク自身ノ刃ヲ以テニエールヲ打チ罪ヲ助ケ
タルニ過ザルナリ

問 ニエールヲ謀殺シタル后汝ハ幾許ノ金ヲ受タリ
シヤ

答 余ハソートノ手ヨリ十二弗ヲ受取タリ他人ハ幾許
ヲ受ケシヤ余ハ其數ヲ知ラザルナリ

問 ニエールノ船中ニテ汝ト同居セシ二人ノ舟子ハ
未タ捕ニ就カズ汝チ能ク彼等ノ名ト其居ル可キ
所ヲ告クルヲ得ベキヤ

答 余其一人ハ子グウハンサン他ハ子グウハンバン
ナルヲ知ル然レモ其居所ニ至テハ余之ヲ知ル
ヲ能ハス

五九 問 其サントバントハ如何シテ其謀殺ニ加巧セシヤ
答 余ト同シクソートガニエールノ首ヲ切ルニ當リテ

刃ヲ以テ之ヲ打タリ

問 汝何カ附言ス可キヲ無キヤ

答 否ナ余更ニ云フ余カ陳セシ處ノヲハ純然タル真

實ノミト

他ノ被疑者ト對質セシムル所ヲグウハントーハ

ニエールノ舟子ニ加ハリタル者トシテ第一ミユ

ラン第二ソー第三チー第四ソソヲ指示シ第一ハ

「ダイコン」(船長)ニシテ其他ハ總テ舟子ナリトシ其

他ピユラツク及ヒウハンノ二人ノ如キハ知ラザ

ルヲ陳シタリ

被疑人トーニ於テ以上陳述セシ所ヲ讀聞セタル所其

實ニ適スル旨ヲ認メ又自カラ署名スルヲ能ハスト述

ヘタリ

警察吏

サイン手署

通 辨

プナース手署

右ノ如クナルニ因リ余輩捕勾ノヲヲ執行ヒ共和國檢

事ノ命ヲ待ツ

七九 首書ノ年月日時「サイゴン」ニ於テ本書ヲ作り緘封

警察吏

サ
ー
ヌ
手
署

○第二十一號

子グハンソ
ウ問答ノ現
詳

「コシヤンシーヌ」「サイゴン」府千八百七拾四年六月四日
被疑人子グウハンソノ糺問現詳ニエールニ關スル
事件被子クウハンソナリ第百七十一號中央局ニ於
テ第三百五十二號トシテ記ス

第壹區警察局

千八百七拾四年六月四日午前第四時共和國檢事長補
助警察官兼「サイゴン」府警察吏サンヌシヤル、バルテ
ラン等謹テ手署シニエールノ殺死ヲ知ルノ調書即チ
五月三十日ニ記シタル第百六十六號ノ調書ノ續キト
シテ余等ハ謀殺首犯人ノ一タル者ト認ムヘク又第
百七十七號調書ニ依リ五月三十一日ニ拘引セラレタ
ル「アンナン」人子クウハンソノ糺問ヲ爲ス下ノ如
シ

問 汝ハ何者ナルヤ

九九 答 余ノ名ハ子クウハンソナリ年ハ廿六住所ナキ

水夫ナリ

問 既ニ刑罰ヲ受ケシヤ

答 否曾テナシ

問 汝ハミーラン、ツシト、ナ、サ、ン、バ、ン、ト共ニ謀殺

ヲ企テ盜罪ヲ犯シ且ツ此ノ罪業ヲ爲ス時ニエ

ル氏ノ水夫ニテ在リシト告ク之レニ答エ得ヘキ

ヤ

答 余ハ全ク貴官ノ言フ所ヲ解スル能ハス此犯罪ニ

於テハ余ハ全ク無罪ノ者ナリ又余ハ當時ニエ

ル氏ノ雇人ニテハ非ラサリシナリ

問 然レ共ミユランノ言ニ汝ハ去五月十九日ニエ

ル氏ト共ニ乗船シ而メ五月十九日ニトキル氏ト

内國旅行ヲ爲タリシトソニミユラン及ヒ他ノ水夫及

ヒニエール氏ノ同伴デユレイ氏及ヒ「アンナン」人

ツシノ言モ同斷ナリ

答 余ハ此ノ言ノ詐ナルヲ固執ス而シテ余ハ去五月

十九日ニエール氏ト出發セヌ

問 ミトヲツシトトノ言ニ汝ハ五月十九日ノ夕ニ

エール氏ヲ殺スマテ協議シ而シテ又々自ガヲニキ

答 出ル氏ノ喉ヲ切りタリ

答 是レ全クノ詐言ニシテ余カ決シテ此ノ重罪ヲ犯

サハルハ明白ナリ何シトナレハ余ハ其船中ニ非

ラサルヲ以テナリ

問 汝ハ此ノ事件ニ關スル犯人ヲ知ルヤ

答 然リ然レモ只壹人ノミ即チチト名クル者余ハ

共ニニエトル氏ニ雇入ラレタリ尤モ是レハ同氏

ノ死前ノトナリ

問 何故ニエトル氏ノ家ヲ去リシヤ

答 同氏カ余ニ給スルコトノ甚ク些少ナルガ故ナリ

問 然ラハ去五月十九日及廿日ハ汝チ何事ヲ爲シタ

リヤ

答 此ノ日ニ爲セシ事ヲ記臆スルハ余ニ於テ致シ難

シ

問 汝ハ尙ヲ無罪ト言張ル乎

答 然リ余ハ實ニ此ノ犯罪ニ關セス

右ノ如ク子グヴァンソトト對質スルモ尙無罪ト言張

ルタリ

調書ヲ讀聞セル所眞實ニ適セル旨ヲ述ヘ而シテ自

署名スルヲ能ハスト述タリ

証 報

警察吏

警察官シヌ手署

通 辨

右ノ如クナルガ故ニ共和國大檢事長ニ引渡ス爲メ予
 クウアンヲ拘引ノ儘指シ置キタリ。ニ於テ現詳ヲ爲タリ且之
 上文夕月日ヲ以テ「サイコン」ニ於テ現詳ヲ爲タリ且之
 封ス

警察吏

○第二十二號

「コシヤンシーヌ」ノ(サイコン)都會ノ名

千八百七十四年六月五日「サイコン」河ニ於テニエール
 氏ノ殺害セラレシ事ヲ證スル現詳百六十六號ニシテ

被疑人「クバン」ニシテ

第一區警察所

千八百七十四年六月五日午後第八時二十分頃該署ノ
 第一區警察吏「サンヌ」及「共和國檢事」補助「ダ」
 「シエウ」州ノ司法警察官吏「シヤル」ハルテ「ミ」相共ニ
 手署ヲ下記シタル上謹シテ左ノ事由ヲ具狀ス
 去月二十七日都市ノ人々相傳ヘテ曰ク殺害セラレタ

ル佛蘭西人ノ死體カ「サイゴン」河ノ「ハリヤ」ニ在リト而
 テ「ハリヤ」ノ司配官ヨリ大檢事ニ寄附シタル電報ニテ
 愈此風説ノ訛傳ニ非ラサルヲ知レリ
 此佛蘭西人ハ去月十八九日頃七名ノ安南人ヲ水夫ニ
 雇入レ林木ヲ購買セント欲シ内地ニ向ケ旅行ヲ爲メ
 出發シタルニエートル氏ナルヲ判然タリ

ニエートルノ社友ニシテ當時病院ニ居ルシエール氏我
 輩ニ云テ曰クニエートル氏ハ百四十五弗餘ト米二ビキ
 五ト帆布衣服類食物股卷及ヒ連發銃一二箇ヲ携ヘ
 船ニ乘込ミタリト

最初ハニエートル氏カ以前ヨリノ水夫ニテ同氏ト共ニ
 旅行スヘキニ賃銀ヲ受取ラサリシト云張リ其前日之
 ニ從フヲ拒ミタル者ヨソ此重罪ノ犯人ナラント疑ヒ
 シ矣(五月十八日若クハ十九日ニ於テニエートル氏ニ從
 ヒ出發シタル五名ノ水夫ガ「サイゴン」ニ於テ拘捕セラ
 ル、ニ及ンテ始メテ此疑ヒハ晴レタルナリ蓋シ其拘
 捕後直チニ之ヲ糺問シタルニ子クパンソシ子クパン
 ミユオン及ヒ子クパントハ五月十九日即チニエー
 ル氏が出立セシ日ノ夜同氏ガ殺害セラレタルヲ見タ
 リト陳述セリ他ノ二名ノ水夫ナル子クパンソト及ヒ

子クバンチーハ躬親カラ重罪ニ加ハラサリシノミナ
 ラス曾テニエール氏ニ從ヒシヲナク其頃ハ「サイゴン」
 ニ居タル旨ヲ言張リテ變セス。其時武官等ニ
 此時子クバンチーミユオン子クバンソト及ヒ子クバン
 トノ陳述ニ曰ク子クバンソトカ安南國ニテ魚ヲ料理
 スル短刀ヲ以テニエール氏ノ首ヲ斬リシト蓋シ他ノ
 人夫ハ其時ニ棹ヲ以テ之ヲ打殺シタリ而テ子クバンソ
 トガニエール氏ノ頭髮ヲ掴ミシ間子クバンソトガ遂ニ
 其首ヲ斬リタルナリ。其頃ニセリニ云テ其前日
 ミユオンソト及ヒトトノ自狀スル所ニ據テハ重罪ヲ

遂ケタル(午後ノ八時)ヨリ皆一同ニエール氏カ船中ニ
 持來リシ酒食ニテ翌朝第二時頃迄宴ヲ開キタリ又
 エール氏ノ有セシ金銀ハ各々之ヲ割取シタリ其外船
 中ニ在リシ物ハ悉ク之ヲ水中ニ投シ殘ス所唯ニエ
 ル氏ノ死體ト之ヲ殺害シタル短刀トニ過キヌ而テ上
 陸セシ時ハ船ヲ其儘捨置キ直様其場ヲ遁逃セリ
 ミユオンハ又陳シテ云ク子クバンソトハ重罪ヲ犯シタ
 ル後ニエール氏ノ連發銃ヲ奪ヒ之ヲ袋ヲ中ニ藏シタ
 リト依テ余輩ハ當月九日ミユオンヲ引連レソトカ之
 ヲ藏シタリト云フ所ニ赴キシカ其所ニ至ルニ及シテ

書ヲ以テ之ヲ記載セントス
余輩ハ信實ナル事ノミヲ擧ケ該調書ヲ制シ後日其用
立ツ可キニ之ヲ用立テンカ爲メ前文ノ年月日之ヲ手
署ヲ下記シタリ

警察吏

サ
手署

○第二十三號

此號中一ヲナス者ハ紙上豫メ書式ノ雛形ヲ

印行セシモノナリ

佛蘭西領地「コシヤンシーヌ」控訴院「サイゴン」府初審

裁判所

參考書 千八百二十八年三月三日千八百五十年十一月六日千八百五十六年七月一日ノ司法卿ノ

布達及ヒ海軍卿兼藩屬地長官ノ布達ヲ施行センタメ

姓名及ヒ國民

「マン」及「ヒラン」ノ嗣男

「チグウアン、ミユラン」

若シ犯人ハ支那人或ハ本國人タラハ本人ヲシテ姓

名ヲ記セシムハシ

犯人

千八百、七年ノ罪ヲ犯ス

人相書

體 一人「メートル」

髪

肩

額

目

鼻

口

頬

顔

人相書

一人「メートル」

髪

肩

額

目

鼻

口

頬

顔

色

特別ノ印

犯罪ノ番號 十番

問答

職業ノ部

奈何ナル特別ノ勤勞ヲ爲ス乎

答 水夫或ハ土方カ雇

自己ノ營業ナルヤ

答 否

五一

職業ヲ爲セシヤ或ハ間暇ニ日ヲ送リシヤ

答 日雇

年齢ノ部

年(可成丈生日)

ヲ記セヨ

答 貳拾三歳

若シ十六歳以下或ハ六十歳以上ナレハ出生證書

ヲ添エヨ

生レ所ノ部

府邑(郡州アレハ指示セヨ)

答 「ソシアン」郡「サイゴン」

犯罪ノ日ニ住セシ所ノ部

生所ト同様ノ式

答 「ソントア」ニ住ス

拘引ノ部

何レノ處ニ拘引サレシヤ

答 「サイゴン」ニ於テ

何レノ月ナルヤ

千八百七十四年六月一日

身分ノ部

獨身ナルヤ

答 然リ

犯罪ヲ裁判シタル裁判

答

宣告セラレタル刑

答

刑期シ月

答

才智ノ有様

讀書ヲ知ラスヤ

答

讀書モ知ラスヤ或ハ之ヲ知ルモ不十分ナルヤ

答

自己ノ知識ヲ使用シ得ヘキ程容易ニ讀書ヲ爲シ得

答

答

學校ニ於テ前ニ記スル學科ヨリ上等ノ學術ヲ學ヒ

答

千八百七十四年六月二十四日我等之ヲ保証ス

答

大檢事代檢事補^{シニフス}人^ト手署

(注意)其他ノ犯人ニ於テモ参考ノ寫書皆之レニ同シ

○第二十四號

「ノンホンハ」ノ邑ニ住スルチダアン氏ハ證人ヲ名指シ
タリ左ノ如シ

第一「レヲン」ニ出産シタル郡長

第二「トリ」ニ出産シタル邑長

第三「チハア」ニ出産シタル婦人バン氏

第四「テウハス」

自記ノ職權ニ違順ミ許ハテ茲ニチダアン氏ノ手署

○第二十五號

佛蘭西藩屬地「ユン」ニ於テ

「サイゴン」裁判所ノ「檢事局」ニ於テ

出訴ノ番號 千八百七十四年六月二十四日

二十三日 子クバンミユオンヘノ問答

千八百七十四年六月二十四日午前第九時「サイゴン」裁

判所ノ「檢事補」シヨセフベルナール

ルハ是レ誤リナラシ何トナレハ此ベルナール 我「檢事局」ニ於テ

氏ハ控訴院大「檢事」ノ補員ナレハナリ 安南語ノ譯官「オーポー」氏出席ノ上我輩ノ面前ニ呼出

シタル子クバンミユオン問答セシ左ノ如シ

問 汝ノ姓各年齢職業生國住所ハ如何

答 余ハ子グバンミユオント名ツク當年二十三歳ナ

リ職業ハ日雇生國ハ「ノンシヤウ」住所ハ「サイゴン」

ハ「ノンオロ」村ニ在リ

問 汝ガ平生ノ職業ハ如何

答 余ハ平生橋梁堤防局ノ日雇トナリテ其事業ニ從

事セリ

問 汝ハ如何ナル因故ニテ舟人トナリシヤ

答 余ハ橋梁堤防局ニ於テ仕事ナカリシ故手弦ヲ得

テ船ニ入りタリ

問 併シ船ヲ運轉スルニハ平生ヨリ其業ニ從事セス

シハ能ハサルヘシ

答 余ハ幼少ノ時ヨリ船ヲ運轉ヲ職トセシ故此ニ少

シモ差支ナカラント思フタリ

問 汝ニエール氏ノ船ニ雇入レラレシ時ヨリ何程前

ニ船夫ノ職ヲ止メタル乎

答 余ガ此職ヲ停止シタルハ五年前ニアリ

問 何人ヨリ如何ナル手弦ニテ船ニ雇入レラレシ乎

答 余市場ニ在リシニ不圖子クバンソーニ出會セリ

時ニ此者余ニ向ヒ我ニエール氏ト紛議アレバ最

早其船長タルヲ欲セス子其我ニ代ラン乎ト云
ヘリ余之ニ答ヘテ余ハ餘程前ヨリ航河ノ業ヲ廢
シタルヲ以テ決シテ其術ニ長スル所ナシト云ヘ
ル彼亦曰ク然ラハ我レ子ニカヲ借ス可シト余是
ニ於テ之ヲ承諾シタルナリ

問 汝カ子クバンソトニ代リシ時此者モ亦タ船中ニ
在リシト云フハ抑々何ノ故ゾヤ

答 余之ニ代リシト雖モ彼モ櫓方トシテ余ニ從ヘリ

問 何故彼レハ船長ヲ辭シ汝テニ之ヲ讓リ自ラ其下

ニ居ルヲ甘シタル乎

答 彼若シ船長ト成リ居ラハニエール氏ト關係セサ

ル可カラス併シ櫓方トナレハ總テ余ヨリ仕拂ヲ

受ケ唯余シミ之ニ掛合ヲ爲スコナレハナリ

問 汝ハ五年前ヨリ船ヲ運轉セサルニ何ヲ以テ船長
ノ重任ニ當ルヲ得シ乎

答 余ハ最初櫓ヲ取リテ船ヲ運轉セントシタルニ腕
力盡キテ餘程疲勞ヲ覺ヘ遂ニ之ニ堪ヘ難キ場合

ニ至レリ其時仲間ノ者余ニ船ノ舳方ニ行クヘシ

ト云ヘリ之ニ依リテ余カ船長トハナリタルナリ

問 汝ハ最前ソトノ依頼ニ付市場ニ於テ船長トナル

「トヲ許諾シタリト云ヒシニ非ラスヤ」

答 余ハ信實ノ事ヲ述ヘタリ

問 兎モ角モ今汝ハ矛盾ノ事ヲ述ヘルガ其確實ナル

ハ孰レナルヤ之レヲ茲ニ云フヘシ

答 余ガ市場ニ在リシ時ソレノ依頼ニ付キ船長トナ

ル「トヲ承諾セシ」コソ確實ナリ

問 何故汝ハ腕力疲勞セシニ依リ舳方ニ回リシトハ

云ヒタル乎

答 余ハ空言ヲ吐キタリ

問 何人カ船ノ人夫ヲ雇ヒ集メタル乎

答 余ナリ

問 汝ハ久シク航河ノ事ニ従事セサレハ船ノ人夫タ

ルベキ者ヲ多ク知ルベキ答ナシ

答 余四ヶ月以前船長トナリテ「シヤウ」ト云クニ行

キシトアリ

問 汝ノ言甚タ信シ難シ汝ハ「エ」ル氏ノ船ヲ雇入

レラレシ時ヨリ五年前ニ船長ノ職ヲ止メ其後之

ニ従事シタル事ナシト云ヒシニ非ラスヤ

答 余ハ「シヤウ」ト云クニ旅行ノ時ヨリ五年前ニ船

長ノ職ヲ止メ「ト」云ハシト欲シタルナリ

問 何人カニエトル氏之船中ニ水夫ヲ雇ヒ入ルノ

答 任ヲ汝ニ與ヘシ乎

問 是レソトナリ

答 併シ汝ハ警察吏ラシテ氏之面前ニ於テハニモト

問 ル氏ノ依頼ニ付キ水夫ヲ雇ヒ集メタリ

答 タルニ非スヤ

問 左様ノ事ヲ云フ然ルカモ圖ラレズ其時ハ殊ノ外

答 畏テ抱キ居リシ故余自カニ如何ナル事ヲ云ヒシ

問 ヤヲ詳知セザル位ナリ

答 然ラハソ一ガ汝ノ名前ニテ萬事ヲ指揮シタルニ

問 相違ナキ乎

答 然リニシテ

問 汝ヲ雇入レタル水夫ノ姓名ハソ一ヨリ聞キタル

答 處カ

問 否ナ唯

答 此

問 汝ガ水夫ノ職ヲ止メタルハ餘程以前ニヤ

答 此召集ヲ能クス可カラサルニソ一ガ自カラ之

問 任セシメテ汝ヲ任シタルハ如何ナル故乎

答 余ハ

過日堤上ニ於テ之ニ出會シタル時佛蘭西兵ノ船ヲ漕カシト欲スル者ヲキ乎ト云フ之ヲ雇テ悉クルナリ

問 然ラハ夫ニテ水夫ヲ雇入ハ辨シタリヤ今日其リ旅行中ノ事ヲ聞カン

答 余ハ旅行ヲ爲サシルナリト云フ水夫ヲ雇テ來ニ云何ト云フカ汝ハニエール氏ニ從ヒシ事ヲシト云

問 フ乎

答 余ハニエール氏ニ誘ハレシニ相違ナシト雖モ驛舎ノ近傍ニ至ルニ及ンテ我等ハ河ノ左側ニ在リ

シガ故ニ余ハ躍リテ上陸シタリ

問 何故汝ハ上陸シタル乎

答 夫ハ畏ヲ抱キシガ故ナリ

問 何ヲ畏アリシ乎

答 出立前余他ノ水夫カ談話タルヲ聞キ之ニ依テ彼

等ニニエール氏ヲ殺サズ

問 然レハナリヤ

問 成程左様ヲ事アリシカ汝今少シク之レヲ明言セ

答 汝ハ他ノ水夫等カニニエール氏ヲ殺害ヲ謀ルヲ

聞キタル乎

答 奈ハ其謀ニ預カラサリキ併シ曖昧ナル二三ノ言

語ヲ聞キ依テ彼者等カ旅行中ニエールヲ殺スニ

決シタリヲ知リタリ

問 然ラハ航河セザルガ良策ナルニアラズ乎

答 貴官ノ言ノ如シ然レモ最初ハ信偽ノ程モ確知シ

難ク且ツ之ヲ脱スシ好機會ヲ外シタレハ敢テ遁

問 此ヲ爲サレモ船ニ乗込ミシヨリ又彼等ノ言ヲ

答 聞キタレテ遂ニ意ヲ決シテ右ノ始末ニ及ヒシナ

問 汝ハ船中ニテ彼等ノ言ヒシ處ヲ細密ニ述ヘ得ル

問 乎ハ...

問 否...

答 否...

問 聞...

我輩...

ハス...

手署...

問...

答...

千八百七十四年七月十六日大檢事補...

ナール全前...

續キ問答ヲ爲ス口左ノ如シ

問 汝ガニエール氏ノ船ヲ去リ幾時頃ナリ乎

答 夕刻ノ五時頃ナリ

問 何ヲ云フヤ汝ハ午頃出立セシト陳述シタ乎

答 然ルニ五時頃ニ至リテモ尚ホ驛舎ノ近邊

迄ヨリ行カサリ乎

答 我等ハ出立シテ船中無事船友陸地等着々適

品ノ積シタル者ヲ處置セントシテ之カ爲メ餘程

時間ヲ過シタリ

問 汝ハ如何ナル機會ニ乘シテ上陸シタリ乎

答 船中ニ積シタル品物ヲ談々ト上陸ト定メ

持セザレム之ヲ以テ直將ニ其任拂ヲ爲ス欲

ニ持行ク云々云々

問 此書面ニハ何ナル事ヲ記載シ在リシ乎

答 唯商品ノ積シタル事ニ付キ一弗ヲ拂垣與ル

間 果シテ然ラハニエール氏カ船ノ親方ニ

テ商業ヲ營ムモ知ル所ニ他ノ下儼本其措其

此親方トハニエール

ル氏ノ船ニ居ル者ニ非ラス他ノ下儼本其措其

一弗ヲ受取ルニ行キシナランニ何故同氏ガ斯ク

如クハ爲サバリシ乎

答 是レ同氏カ返事ヲ得ントシタレハナリ

問 如何様ノ返事ナルヤニエトル氏ハ其社友ニ仕拂

ヲ依頼スルニ何ゾ其返事ヲ要スルノ理アラシヤ

答 ニエトル氏ガシユレト氏ニ修覆ノ仕拂ヲ爲ス許

諾ヲ求メタシハナリ

問 汝ハ今ニエトル氏カ仕拂ノ事ヲシユレト氏ニ依

頼シタルノミト云ヒタルニ非ラスヤ

答 成程余誤りタリ夫レハ仕拂ヲスル許諾ノ事ナリ

問 社友タル者ガ決シテ此ニ如キ許諾ヲ得ルニ及バ

サル可シ汝ガ既ニ云ヒテ事ヲ忘シタルナリニエ

トル氏ハ旅行ニ必用ナル金額以外持合ハセテキ

ニ由ル仕拂ヲ爲ス能ハスト云ヒタリト今汝ノ口

ヲ其述ヘタルニハ非ラスヤ

答 否主トシテ

問 而シテシユレト氏ハ汝ニ何ト云ヒタル乎

答 余ハシユレト氏ノ方ニ行カサリキ

問 汝ハニエトル氏カ書面ヲ渡シ返事ヲ持來レト命

シタリト申述ヘタルニ非ラスヤ然ルニ何故シユ

答 余ハ最早船ニ返ルヲ欲モサリ故弊爽レイ命

問 何故船ニ返ルヲ欲モサリヤ

答 何トナレハ余ハ三上浦ル氏ヲ信チキ人平思ヒ之

答 三上浦ル氏ヲ信チキ人平思ヒ之

問 是迄ノ問答ニ於テ汝ハ他ツ水夫等ト共ニ謀殺ノ

事ニ加ハラサシテ汝ヲ欲シテ船ヲ去リ今前述べ

タリ其時汝ハ三上浦ル氏ニ使使候在テ受テタリ

トモ又タ任拂得テ可シト云テ畏テルヲ以テ船

ニ返ルヲ欲モサシテ云テ汝ハ前述べ候ハニ云テ

答 然リ然レモ其時ニ余ハ偽言ヲ吐キタル事ナリ

答 云フ處ハ皆信實ノ事ナリ

問 汝此偽言ヲ吐キテ何ツ益アルト思ヒシ乎

答 余ハ他ノ者(水夫ヲ云フ)ノミ此事ニ關セシメ早ク

答 遁レテ之ニ預カラサシテ汝ヲ欲シテ汝ヲ殺シ

問 事ニ預カラサシテ汝ヲ欲スル事ニ關シ謀殺事件ニ

付テシヨカラシテ

答 他日ハ謀殺人ト告訴セラレタル由リ大ニ恐怖

シテ遂ニ精神ヲ失ヒタリ併シ今日ノ事ハ皆確實

ナリ

問 然ラハ汝ハシユレ一氏ノ所ニ行カサリシトシテ

其時如何シタル乎

答 身ハ煙草ヲ買フ物爲シ市場ニ赴キ余ハ安南人

ト云フ醫員ノ車ヲ牽キニ行キタリ

問 此ツ邊ツト云フ人ハ何ニ住居スル乎

答 夫ハ「フオン」地ニ住居ス此處ハ警察所ヨリ先キノ

橋ツ横手ニ住居ス

問 汝ハ此醫員ヲ雇入ケル乎

答 否ナ併シ其車ヲ牽キシ度々アリ

問 然ラ然汝ハ上陸シテ直ニツツツ氏カ汝ニ用フ

答 此ヲ推知シタルカ

答 余カ車ヲ牽キシハ三日後ノ事ナリ

問 左スレハ汝ハ上陸シテ如何シタル乎

問 前ツ問ニ答キテ可カラス

答 余ハ宅ニ歸リ而シテ三日間疾病ニ罹リ居レリ歸

宅ノ日ノ夕刻ツシハ船ヲ親方ト共ニ來リタルカ

余ハ之レニ一弗ノ金ヲ拂フ能ハサルニ由リ絹

衣腰帶ト九九ノ錢ヲ渡シタリ

問 汝ハ果シテ急ニ病者トシ三日間宅ニ居リシニ

答 相違ナキ乎

答 余亦以前より病者ナルニ船中ニ於テ又々身体潤

潤セタレハ遂ニ寒熱往來少病止チテ至リニ

問 汝ハチノ煙草ヲ買ヒニ行キシト云ヒタルカ汝

ハ多分前後シタルナラシテ何トカレテ去リ上ル

上ル氏ノ船ヲ去リタル事ナクハ余ハ余ノ

答 否ナチノ余ト共ニ船ヲ去リタル事ナクハ

問 併シチノ船ヲ去ラサシハ汝ガジユレノ

方ニ書面ヲ持行クヘキ任ヲ受ケタル事ニテ判然

答 然ラハ何故チノ船ヲ去リタル乎

問 然ラハ何故チノ船ヲ去リタル乎

答 彼レ余ニ云テ曰ク余船ニ止マルヲ欲セス必ス仕

問 拂ヲ受クルヲ得サルヘシト云フ

答 併シニエール氏カ其隨意ニ去ルヲ打捨置ク可キ

問 ノ理アラシヤ

答 ニエール氏ガ背ヲ向キタル時彼レ其機ニ乗シ躍

問 リテ上陸シ而シテ余ヲ追フタリ

答 汝カ船ノ親方ヲ誘導シテ來リシ者ト云ヒタルソ

問 シハ如何ナル人物ナルゾ

答 ニエール氏ノ船ニ乗込シ水夫ノ一人ナリ

問 此者ハ何處ニ住居スル乎

答 「ゴトビヤツフ」ナリ

問 ニエール氏ハ既ニ汝トチトテ適レテ其ノ悟ルヲ

カラ少シモ戒心セスシテ又一名ノ水夫ヲ出シタ

ルハ何ノ故カ同氏ハ其屬從テ率ビ一旦「サイヤン」

ニ立返リ而シテ自カラ萬事ヲ處置スヘキ事コソ

實的ラシキカ

答 ニエール氏ハ余ノ返ルヲ待チ飽キタルヨリ幸ヒ

ソンカ余ノ知己タルヲ以テ之ヲ余ノ宅ニ遣ハシ

余ヨリ親方ニ仕拂ヲ爲サシメ且ツ余ヲ船ニ回ラ

シメント欲シタルナリ

問 ニエール氏ハ汝ヲシキレト氏ノ處ニ在ルトユソ思

フヘキニ左ナクシテ汝ノ宅ニソンヲ遣ハシタリ

ト云フハ何ノ故ソヤ

答 余ハ之ヲ明解スル能ハス若シ余ノ述ヘタル事ニ

偽リト思慮セラルハナラハ之レヲソンニ問ハレヨ

問 而シテソンハ汝ノ住所ヲ知ル乎彼ハ汝ノ朋友ナ

ル乎

答 否ナ併シ彼レハ余ト橋梁堤防局ニ雇入タル頃仕

事ヲ爲シニ趣ク途中余ノ宅ノ門前ニテ屢々余ト
出會セシトアリ

問 ヨシマン(夫レハ如何ナル譯)「シヨピア」ヨリ「サイヤ
カト不審スル語」

シノ橋梁堤防局ニ行ク爲ナル乎夫レハヨクホシラ
シラ過クハキ途ニ非サルニ非ラズヤ

此時被疑人ハ暫時默然タリシカ終ニ答テ曰ク余
ハ此處ヨリ過キシナリ

問 ツシム汝ノ宅ニ親方ヲ誘導シテヨリ如何シタル
乎

答 最初ハ余ニ向ヒ船ニ歸ラサル乎ト云ヒシカ余之

ヲ拒ミタルニ由リ他ノ水夫ヲ雇入レニ趣キタリ

問 汝ノ「クオシラシ」ニ着シタルハ何時頃ナル乎

答 午後ノ四時ナリ

問 ツシガ親方ト來リシハ何時ナル乎

答 四時半ナリ併シ又タ六時半頃ニ來リテ他ノ水夫

ヲ探シタレハ汝ヲ措キ行カント云ヘリ

問 ツシハ其雇入レシ者ト早速船ニ返ルハキニ左ノ

ニ有益ニ非ラサル事ヲ汝ニ報スルカ爲メ敢テ時

間ヲ過ゴシタリトハ抑モ何ノ故シヤ

答 ツシハ水夫ヲ雇入レタリト雖モ親方ニ付テノ事

件ハ未タ畢ラザルシヲ以テ掛リ續クニ付テハ
問 汝ノ親方トシテ間少事ニ付待ツシハ何ノ用アリシ

乎

答 親方ハ三ツノル氏ノ船ヲ近傍ニ待チ居ル己レシ

船ニ返ラント欲シタル時ツシカ之ニ云テ曰ク子

若シ返ルヲ欲セバ予共ニ同ヨリ暫時以間ニ事

ヲ畢ス直ニ茲ニ來リ而シテ後子相共ニ途ニ就

カント實ニ彼等ハ余ノ宅ヨリ同時ニ出立セシナ

リ其頃ハ既ニ「ラシズ」ヲ燈ス時刻ナリキ

問 親方ハ一度セ其要事ヲ濟シタルハ三時以間ツシ

ヲ待ツニ及セザル可キナリ

答 然レモ親方ハ余ノ宅ニテソノ歸ル時迄待チ居

リタリ

問 汝ニエール氏ノ命ヲ受ケ其船ヲ去リタルハ何時

ナル乎

答 四時半ナリ

問 汝ハ支那人ノ製造所(ニエールカ破損シタル物)ヲ

發シ船渡場ニ行キ「アフポイントマン」(館舎ノ)ノ前ニ

テ大河ヲ渡リ夫ヨリ「クオンラー」ニ至ルニ僅カ半時

間ヲ費ヤシタル而已乎是レ信シ難キ事ナリ況ン

ヤナハ汝ヨリ後チニ發シ此大河ニ大風ヲ起シ
 拘ハラス汝ニ追付タルヲ見レバ汝ノ疾行セザル
 六明白ナルニ於テヲヤハシテハ汝ノ疾行セザル
 併シ余ハ四時ニ着シタルニ相違ナシ他又風モ誠
 三穩カナリキ

問 糺問ヲ始メ汝ハ五時ニニエール氏ノ船ヲ去リシ
 下述ヘタリ

答 余ハ左様ノコヲ云フ可キ筈ナシト雖モ爲念暫時
 顧慮セン

問 我輩ハ今汝ヲ云フ所甚ダ多クシテ自ラ記臆スル

所甚ダ少ナキヲ悟レリ請ラソシヨリ船ニ返レト
 勤メラレシ時之ヲ拒絶シタルハ何故ナリト云フ
 予ヲ明白ニ陳述セヨ

答 余ハ船ノ楫カ小々損セシニ由リ此ノ如キ粗惡ノ
 物ヲ以テ船ヲ漕カシヨリ寧口之ニ從事セザルニ
 如カスト思込タレハナリ

問 汝ノ記臆スル所甚ダ勘ナク其實事ニ反スルハ今
 汝ノ云ヒシ處ニテ判然タリ汝ハ仕拂ヲ得サル畏
 アリテ船ニ返ルヲ欲セザリシト云フ又タ三日間
 病氣ニテ宅ニ居リシトモ云ヒタルニ非ヌヤ

答

余ノ述ヘタル事ハ皆確實ナリ夫等ノ譯柄ニテト云フ意ナリ

問

答

ソノハ一人モ率ヒ居ラス又々其名前ヲモ告ケサリキ然レモ當時「ホロロ」ニ住スルシヤンタント云フ者正監獄舍ニ居リシ時此者余ニ咄シテ云ヘリソノカ管ヲ予ハニエトルヨリ四名ノ水夫ヲ雇入レル可キ任ヲ受ケキ

グ下ゾダツ四人ヲ雇入シタリト我ニ云ヒシト咄

シタリ

問

汝トチーソ外他ニ代ラシム可キ者アラサルニソシカ四名ヲ水夫ヲ雇入シト是レ甚解シ難キ事ナリ

答

余モ如何ガリ譯テルガヲ知ラス

問

答

此人余ニ云ヘ所彼等ノ住所ハ「ミユオンソック」村ニテ「シヨコン」病院

問

汝ハ彼等ヲ見知レル乎又々其常ニ居ル所ヲ知ル

問 乎

答 見知りモセス又々居ル處ヲモ知ラス問

問 汝ハ我輩ノ前面ニ於テ陳述シタル事ト極最初警

問 察吏ノ面前ニ於テ述ベタル事トニ雲泥ノ差異ヲ

答 余所ヲ考ヘ出シ得ル乎

答 警察吏ノ面前ニ於テ如何ナル事ヲ云ヒタルカ余

答 詳細ニ之ヲ記セヌ余ハ靴ニテ蹴ラレシガ故ニ心

問 氣朦朧トシタレハナリ

問 何人が蹴リシヤ

答 警察官吏カ足ヲ以テ蹴タリ

問 汝シ同國人ニハ「パルミエ」木名ノ鞭策ニテ叩カル

ハモ猶ホ口ヲ開クヲ肯ンゼザル者間々之レアル

ニ汝ハ僅カ足ニテ蹴ラレタルフミニテ心氣曇リ

汝ノ預カレシコト云フニ「ミール」氏ノ殺害ヲ

事迄モ幾度トナシ空ニ申述タル乎

答 余ハ此殺害事件ニ付キ問ニ答ヘタル事公覺ユレ

モ其時ハ恐懼ノ念絶ヘサルヲ以テ如何ナル事ヲ

云ヒタルカ悉ク之レヲ忘レタリ併シ最前云迄

ル事ニ齟齬スル所アレハ余ハ逐一其辨解ヲ爲サ

問

問 夫ハ叔措キ汝カ初度ノ糺問ヲ受ケテヨリ警察吏

カ汝ノ申立ニ從ヒソシカニエテル氏ヲ連發銃ヲ

匿シタリト云フ所ニ汝ヲ率ヒテ趣キシナリ其時

ハ打擲モセラレズ又タ畏ル可キ事モアルマシ然

答 ルニ汝ハ最初申述ハタル事ニ決シテ詐偽ナシト

警察吏云ヒシナラズヤ

答 余ノ極最初ニ述ヘタル事ハ皆偽ナリ余ハ其偽ヲ

云ヒ張リ早ク警察所ヨリ法廷ニ至リ以テ事ヲ辨

解セシト欲シタルナリ

問 果シテ然ラハ汝ノ仲間カ害ヲ受ケルナラシニ

答 余ノ仲間ハ余ヲ誣告シタルニ付キ余モ亦タ之レ

ニ報シタルナリ併シ唯今述ヘタル事ハ皆確實ナ

リ

是ニテ糺問ヲ終ヘ而シテ該調書ヲ閉テ被疑人手署ス

ルヲ得スト陳スルヲ以テ通辨ト共ニ之ニ手署シタリ

ハルナール手署

手署

○第二十六號

佛蘭西領地「ゴシヤンシーヌ」裁判所檢事局干

八百七十四年九月三日子グウアンツト問答事紀千
千八百七十四年九月三日午前第二時「サイゴン」重罪裁

判所大檢事補助シヨゼフベルナル及ヒ「サイゴン」ノ上

等裁判所及ヒ下等裁判所ノ「アンナン」語通辨アモラン

ト共ニ左ノ如ク問答シタリ

問 名姓年齢職業生所住所ヲ述フ可シ

答 余ノ姓名ヲ子グウアンツト呼フ年六十六職ハ

水夫生所「ハシヨードク」ナリ住所寄留所ナシ

問 警察吏ニ答ヘタル所ニ據ルハ汝ハニエト書然氏ノ

最後ニ旅行シ時共ニ同行セガ事シ汝ハ尙ホ之

レヲ固執スル乎

答 然リ

問 然レモミユラン、チー、チヨー及ヒソン等ノ云フ所

ニ據ルニ汝ハ右ノ輩ト同船ニテ出發シタルナリ

答 其言全ク詐偽ニ出ツ

問 然レモガニレイ及ヒニエール氏ノ船ノ番人ノ言

ニ汝ハ去ル五月十九日ニエール氏ト出船シタリ

ト

答 余ハニエール氏ト同船セス

問 然レモ汝ハニエール氏ノ古參ノ僱人ニ非ズヤ

答

實ニ然リ余ハニエール氏死去ノ前マテ同氏ノ水夫タリシ然レモ同氏ノ最後ノ旅行ノ連中ニ非ラサリシナリ余ハ同氏ノ給スル所些少ナルヲ以テ暇ヲ請フタリ

此時ニ吾輩チヨートヲ引出シソートヲ示シテ左ノ間

答ヲ爲シタリ

問

汝チ此人ヲ知レリヤ

答

然リ此人ハソート名クル水夫ナリ

問

ニエール氏ヲ殺ス時ソートハ汝ト共ニ居タリシヤ

答

然リ

問

ニエール氏ノ頸ヲ切り鋸リ挽キヲ爲シタル者ハ

ソートナルヤ

答

然リ(ソートヲ指シテ)

ソートニチヨートヲ示シテ問答ス

問

此人ヲ知ルヤ

答

然リチヨート名クル水夫ナリ

問

何レノ處ニテ知己トナリシヤ

答

余ハ兩三度ノ旅船ニ共ニ水夫ヲ爲シタリ

問

チヨートノ明白ナル言ヲ聞シヤ

答

何ノ利益アリテ斯ク余ヲ告訴スルヤ余實ニ其故